



AKIBA ホールディングス

2022年3月期 決算説明資料
2022年5月13日

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ会社説明

※ 資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ会社説明

コロナ禍を乗り越え事業の成長を維持

- ①コロナ禍及びウクライナ危機といった不確実性を内包する事象から、事業環境における不安定感を否めない状況であったものの、引き続き**増収増益を達成**

- ②シーアールボックス株式会社をグループに加える事で技術強化・商流の拡大を図り**メモリ製品製造販売セグメントを強化**

- ③事業セグメントの更なる拡大・拡充を図るべく、**M&Aを含め、収益基盤の拡充を積極的に推進**

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ会社説明

セグメント

更なる事業セグメントの成長・拡大を目指す

メモリ製品製造販売
(メモリ・IoT)

株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社
メモリ製品の製造・販売、IoTソリューション事業 等
※シーアールボックス株式会社は、2021年10月15日に連結子会社化

通信コンサルティング
(通信)

株式会社バディネット
エンジニアリング事業、コンタクトセンター事業 等
※iconicStorageとトランセンエンジニアリングは2021年4月1日にバディネットに吸収合併

H P C
(H P C)

株式会社H P Cテック
科学技術コンピュータの製造・販売

その他
(旅館ほか)

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート
旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、
不動産事業 等

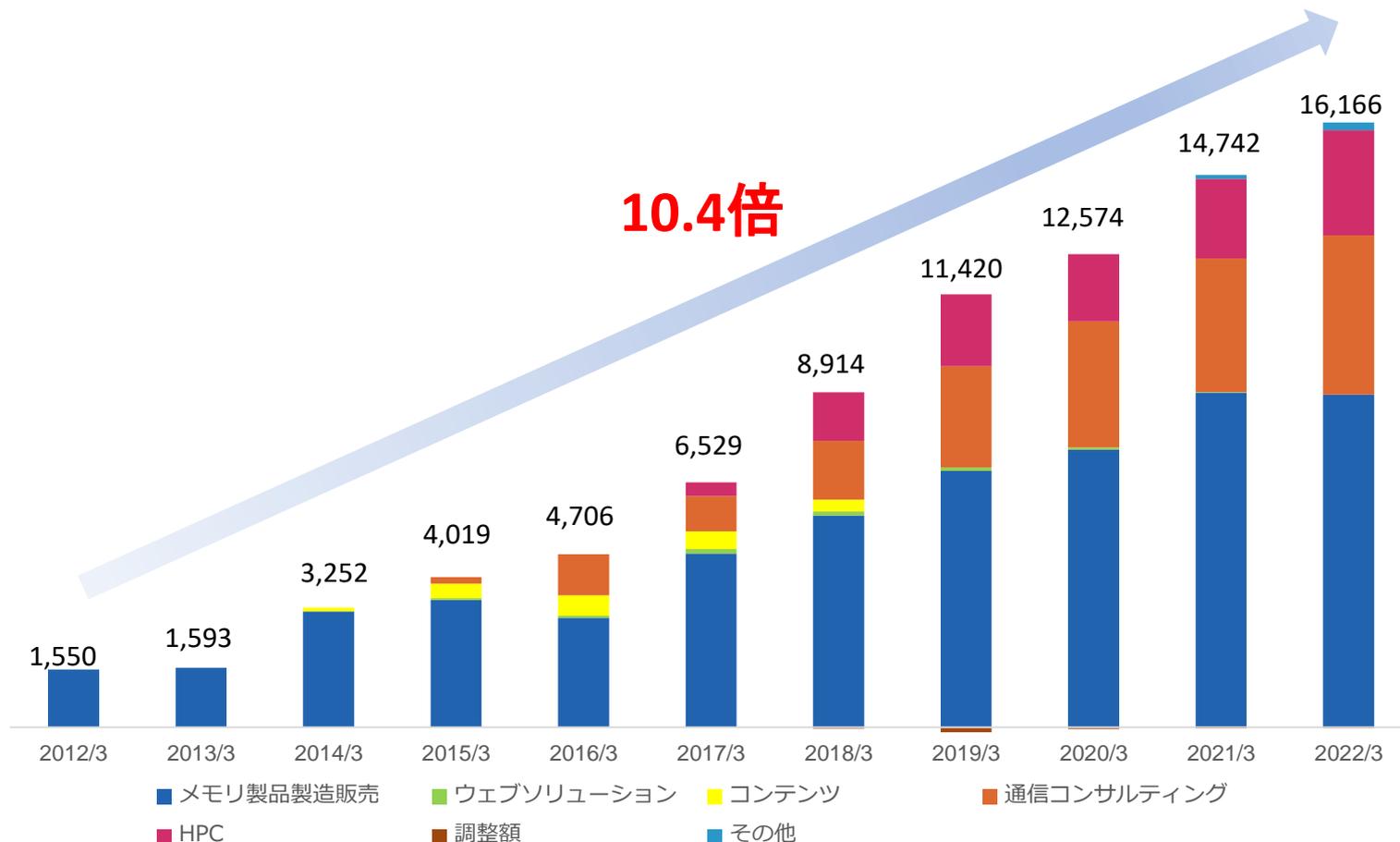
概況

前期に引き続き増収増益を達成

連結	引き続き増収増益基調 売上高 : 16,166 前年同期比 : 109.7% 営業利益 : 721 前年同期比 : 103.5%
メモリ製品製造販売 (メモリ・IoT)	コロナ禍を越えメモリ販売復調により増益を達成 売上高 : 8,901 前年同期比 : 99.3% 営業利益 : 351 前年同期比 : 104.8%
通信コンサルティング (通信)	4Qは単Qとして過去最高益、通年でも過去最高益 売上高 : 4,265 前年同期比 : 119.1% 営業利益 : 380 前年同期比 : 113.6%
HPC (HPC)	4Qで大幅増収、部材調達価格の上昇により減益 売上高 : 2,823 前年同期比 : 132.9% 営業利益 : 179 前年同期比 : 81.8%
その他 (旅館ほか)	コロナ禍の影響強く黒字化に至らず 売上高 : 199 前年同期比 : 187.6% 営業利益 : -29 前年同期比 : -

連結売上高（通期）

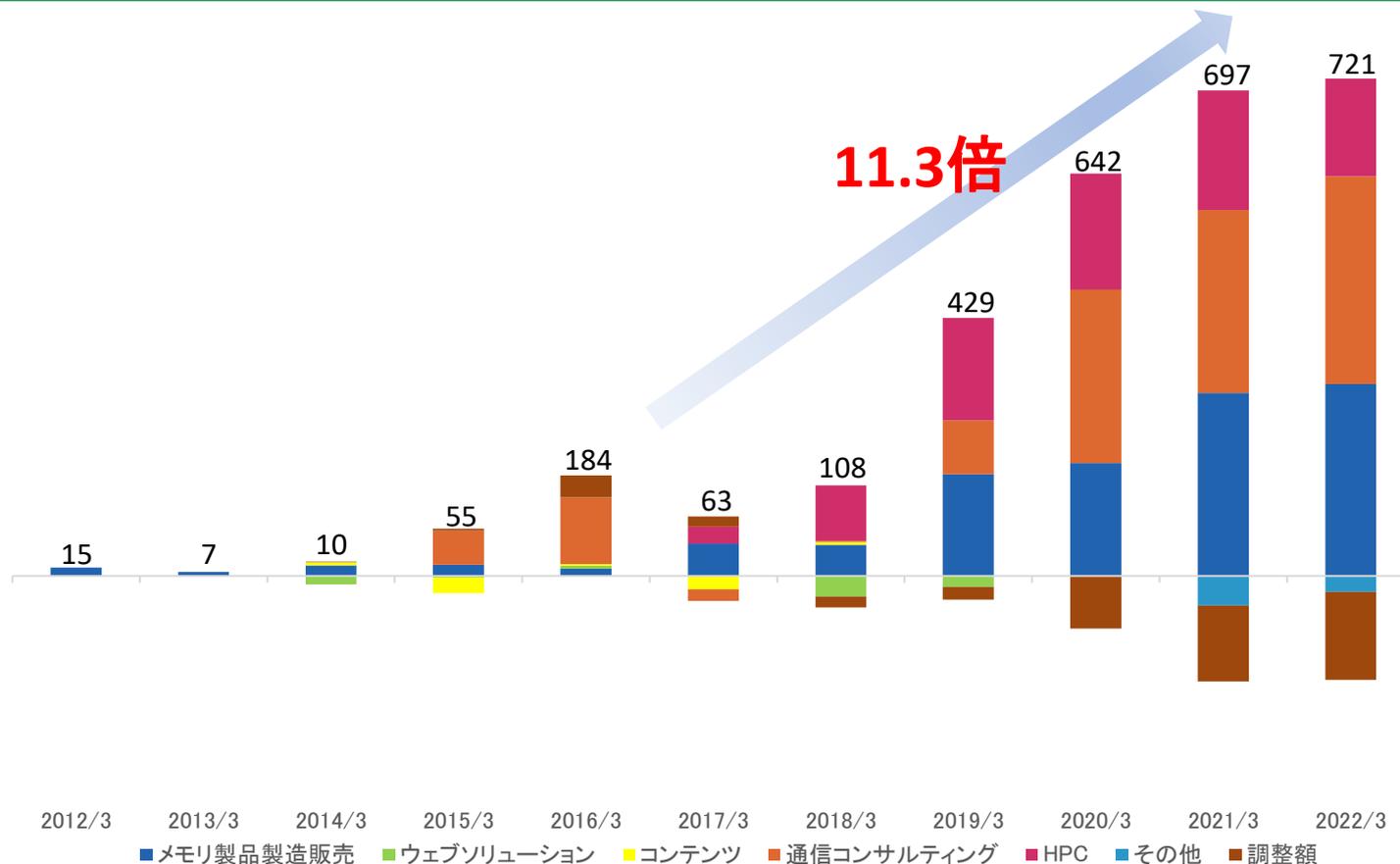
10期連続増収、確実に事業を拡大し10.4倍に拡大



- ※ 2013年3月期まではアドテック（メモリ製品製造販売）単体
- ※ 2016年3月期第3四半期からホールディングス化
- ※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

連結営業利益（通期）

5期連続増益、収益基盤を積み重ね11.3倍に成長



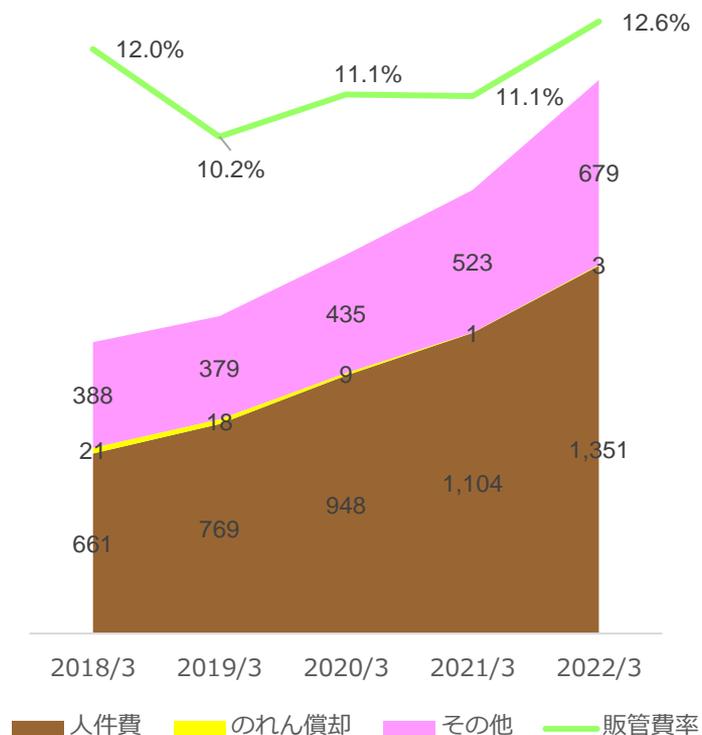
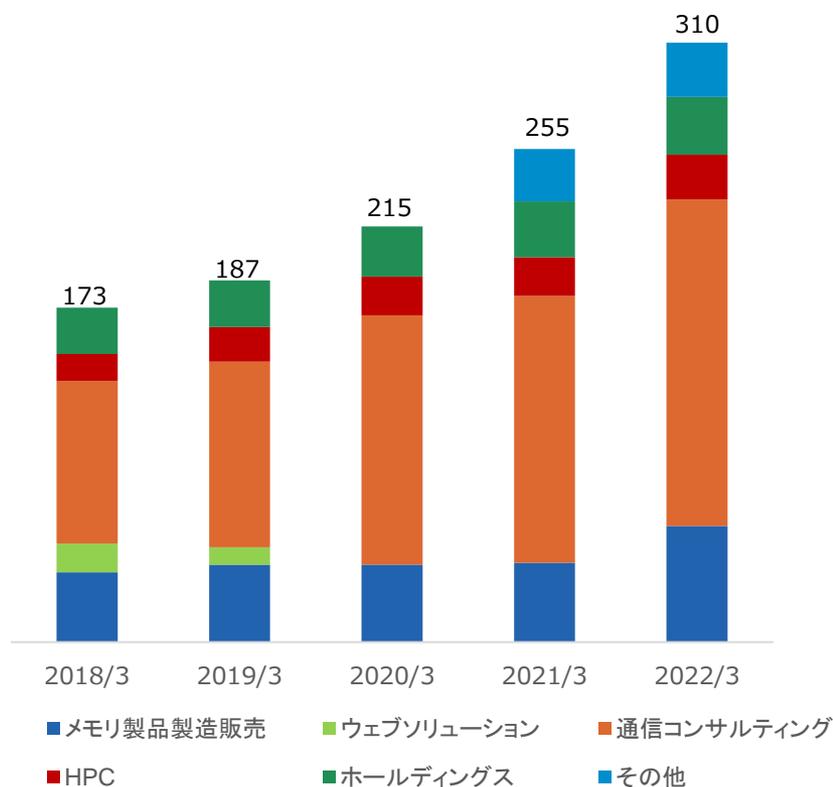
※ 調整額は主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費、持株会社に対する経営指導料の消去

2.2022年3月期通期決算

役職員数、販売管理費

成長分野、新規事業、管理部門で採用強化

事業拡大で人件費、その他販管費共に増加



※ 各年度末実績、役職員＝役員、正社員、契約社員、アルバイト、（単位は人）

※ 人件費＝各種給与、役員報酬、各種賞与、退職金、通勤交通費、採用費、教育費、福利厚生費（各引当金含む）

貸借対照表

事業拡大続き、BS規模も拡大続く

	2021年3月期 期末	2022年3月期 期末	前期末比	トピックス
流動資産	7,976	8,764	109.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の拡大が続き、資本金を除き全て増加、BS規模全体が拡大、将来収益の獲得に向け事業規模の拡大を推進 ・ 事業の拡大に伴い売掛債権が引き続き増加 ・ 部材調達難、長納期対策継続で棚卸資産の増加継続、棚卸資産の増加に伴い買掛金も増加 ・ 借入金は長期、短期とも増加 ・ 引き続き利益剰余金が増加、内部留保を活用し、事業投資やM&Aなど将来収益の獲得に向けた活動を継続
現預金	3,752	3,753	100.0%	
売掛債権	3,351	3,472	103.6%	
棚卸資産	705	1,291	183.2%	
固定資産	403	412	102.2%	
繰延資産	-	-	-	
資産合計	8,380	9,177	109.5%	
流動負債	5,414	5,724	105.7%	
短期借入金	2,800	2,950	105.4%	
買掛金	1,644	1,766	107.4%	
固定負債	718	779	108.5%	
長期借入金	596	622	104.4%	
負債合計	6,133	6,504	106.0%	
株主資本	2,042	2,424	118.7%	
資本金	700	700	100.0%	
利益剰余金	872	1,255	143.8%	
負債・純資産合計	8,380	9,177	109.5%	

損益計算書

コロナ禍及び部材不足を乗り越え増収

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	トピックス
売上高	14,742	16,166	109.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信コンサルティング事業、HPC事業の増進によりコロナ禍による環境悪化を超え売上高が増加 ・ 事業効率の向上により、部品原価高を乗り越え売上総利益率が改善 ・ 先行投資としての、事業拠点の移転、増床の実施による一時費用計上に加え、人員増等に起因し固定費も増加 ・ M & A 関連費用等の一時費用計上 ・ シーアールボックスの連結による負ののれんの計上により特別利益が発生 ・ その他事業(旅館)に属する固定資産について減損を実施し、特別損失を計上
売上原価	12,416	13,410	108.0%	
売上総利益	2,326	2,756	118.5%	
販売費及び一般管理費	1,629	2,034	124.9%	
営業利益	697	721	103.5%	
営業外収益	39	27	69.6%	
営業外費用	53	37	70.4%	
経常利益	682	711	104.2%	
特別利益	-	45	-	
特別損失	-	58	-	
税金等調整前当期純利益	682	698	102.4%	
法人税等合計	285	277	96.9%	
当期純利益	396	421	106.3%	
非支配株主に帰属する当期純利益	51	39	77.2%	
親会社株主に帰属する当期純利益	345	382	110.6%	

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ会社説明

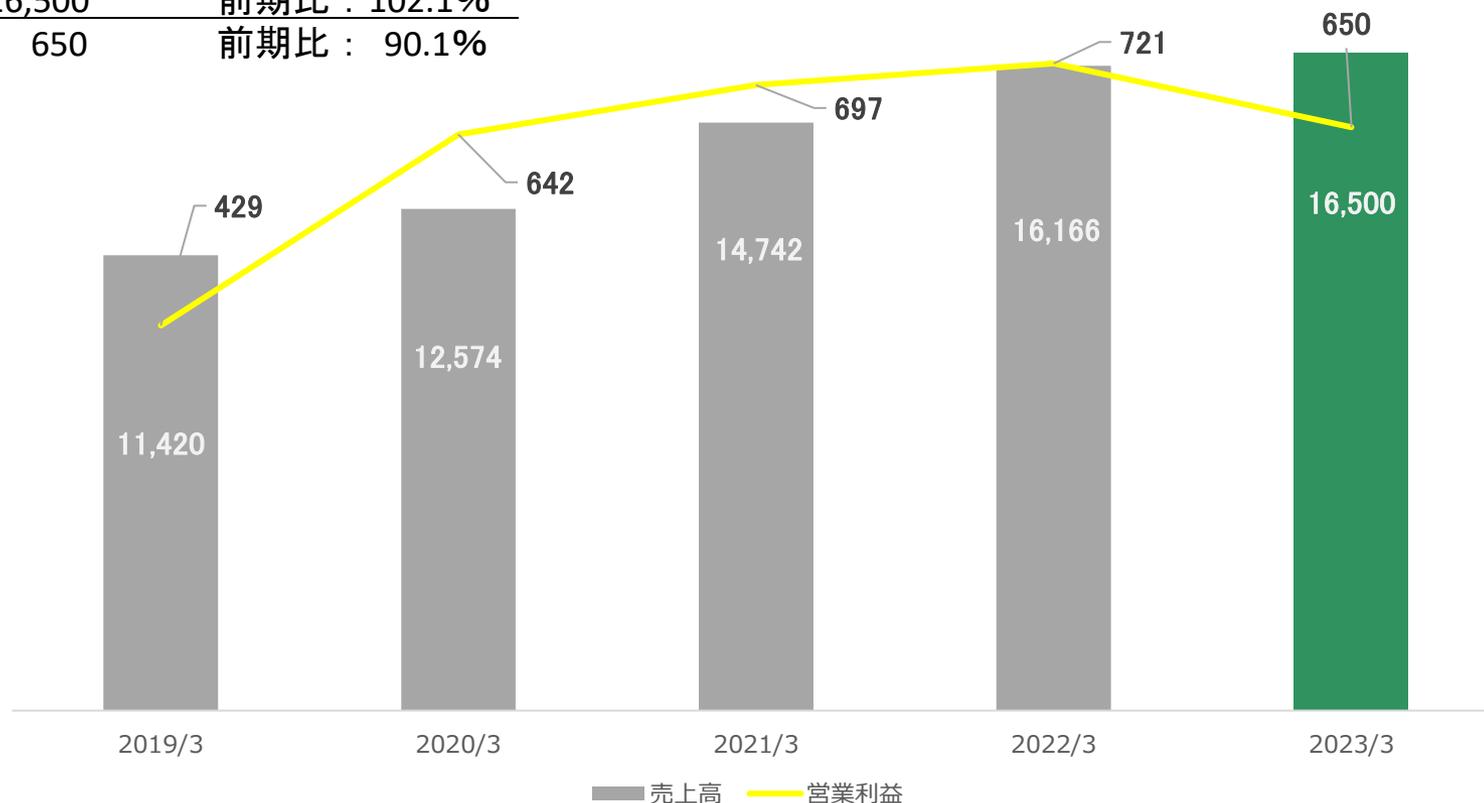
業績予想

コロナ禍、政情不安を越え売上の拡大を見込む

コロナ禍及びウクライナにおける政情不安等から先行きが不透明であるものの、事業努力により前期より売上の拡大を見込む。利益面については、原材料高の継続を想定に織り込み、また、M&Aや新規事業投資に掛かる費用等を見込んだため減益予想

[通期予想]

売上高：16,500 前期比：102.1%
営業利益：650 前期比：90.1%

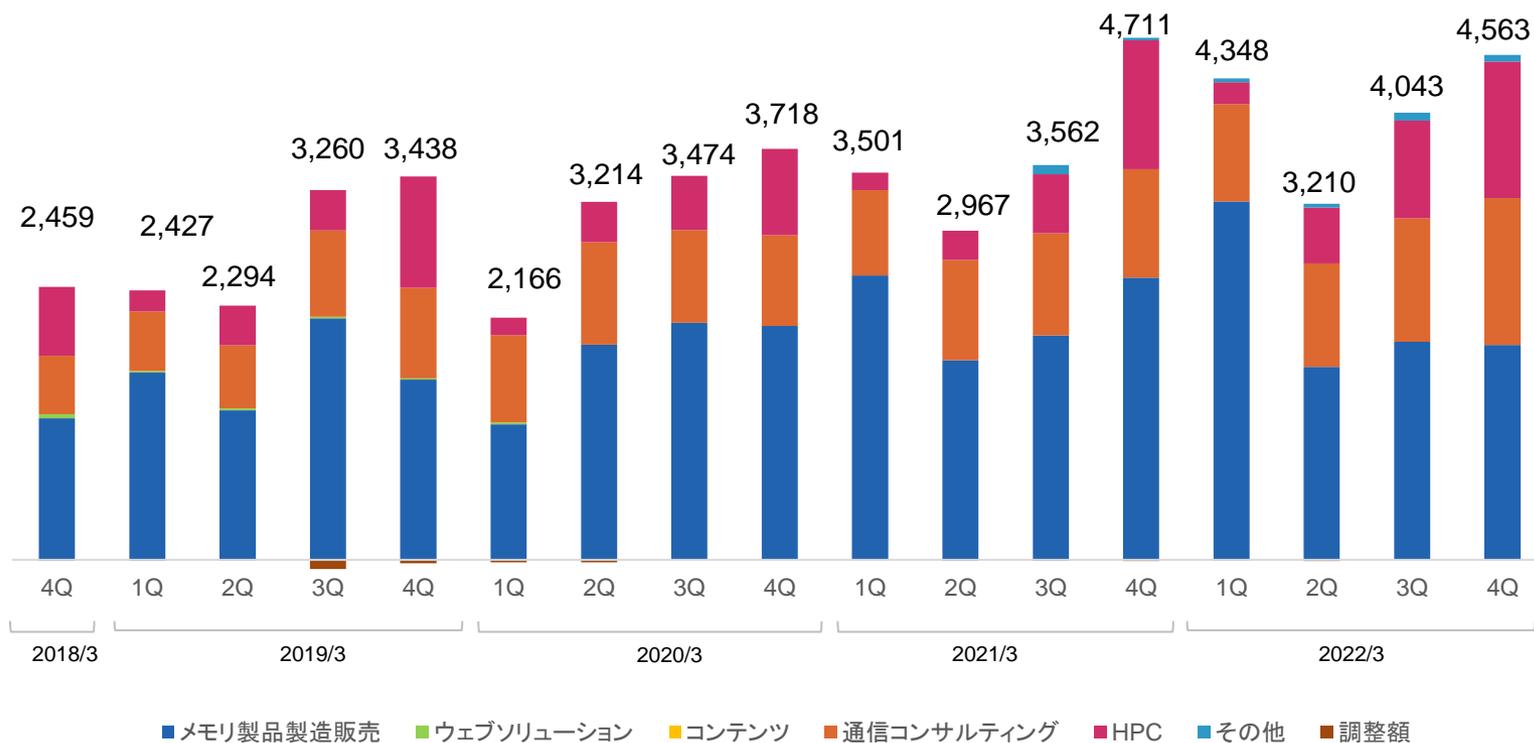


1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ 会社説明

4.2022年3月期第4四半期業績

連結売上高（会計期間）

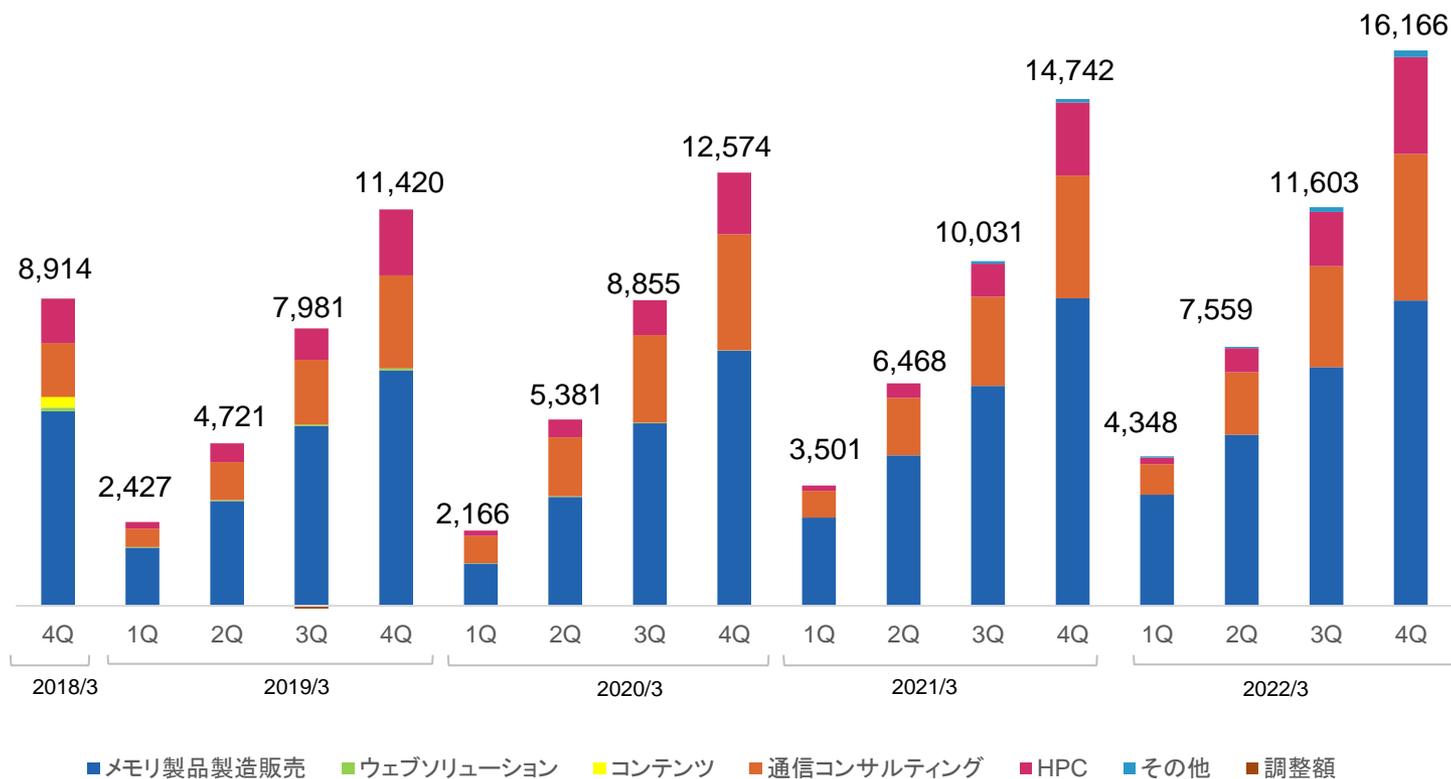
通信コンサルティング事業・HPC事業の増収が
下支え、コロナ禍を乗り越え通期で増収を確保



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

連結売上高（累計期間）

コロナ禍を乗り越え売り上げを確保し、増収を達成

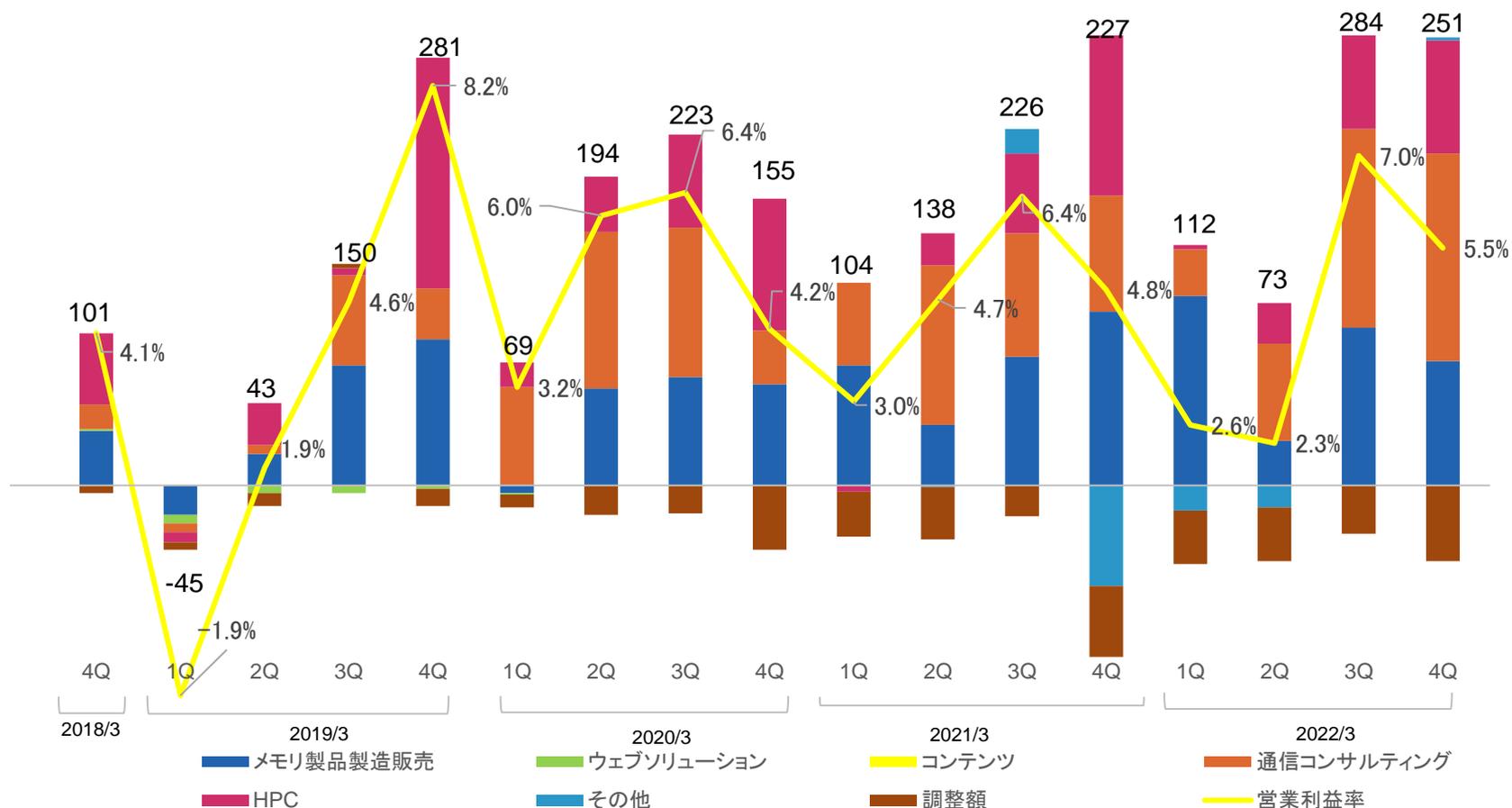


※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

4.2022年3月期第4四半期業績

連結営業利益（会計期間）

コロナ禍及び原材料高・調達難を乗り越え利益を確保

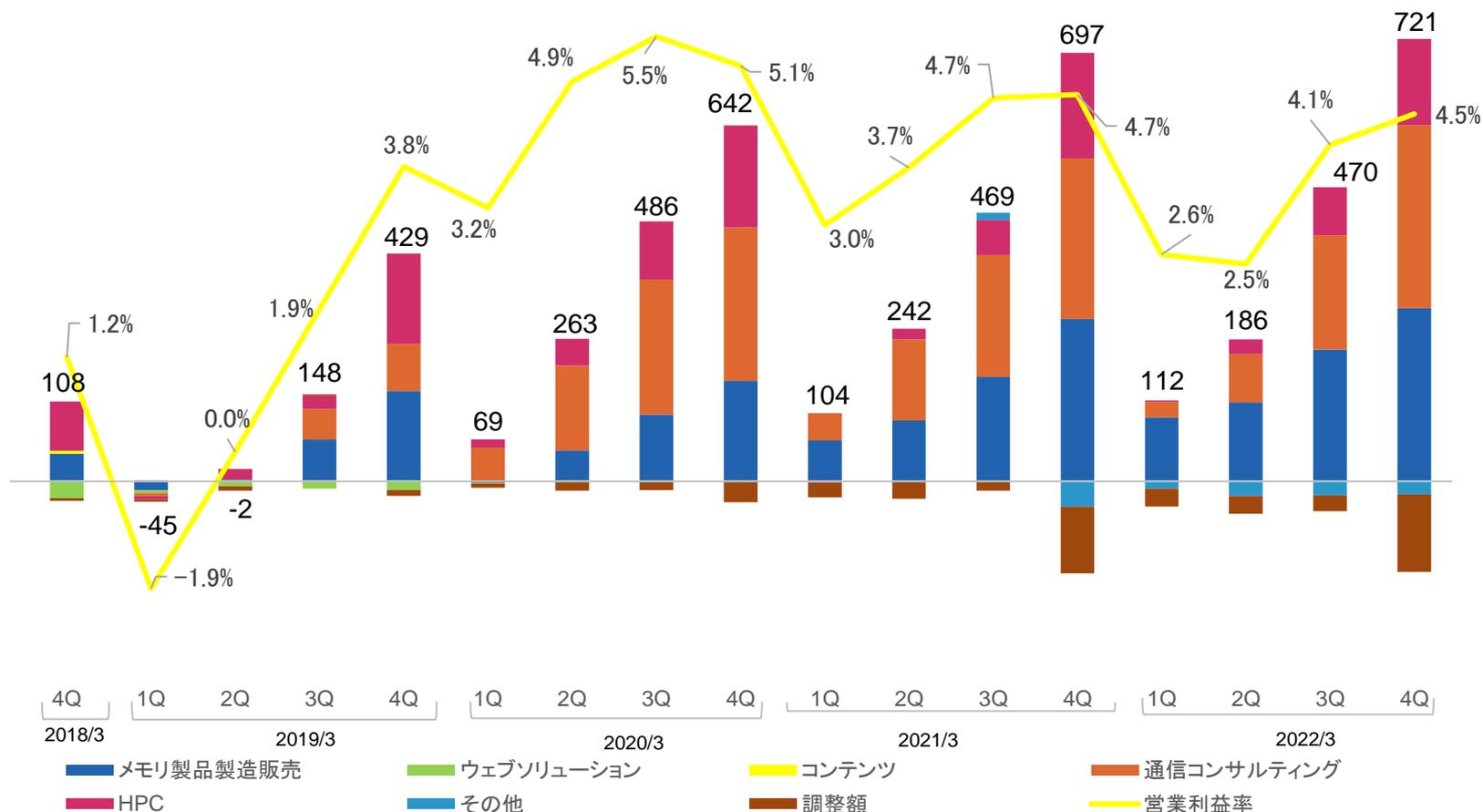


※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

4.2022年3月期第4四半期業績

連結営業利益（累計期間）

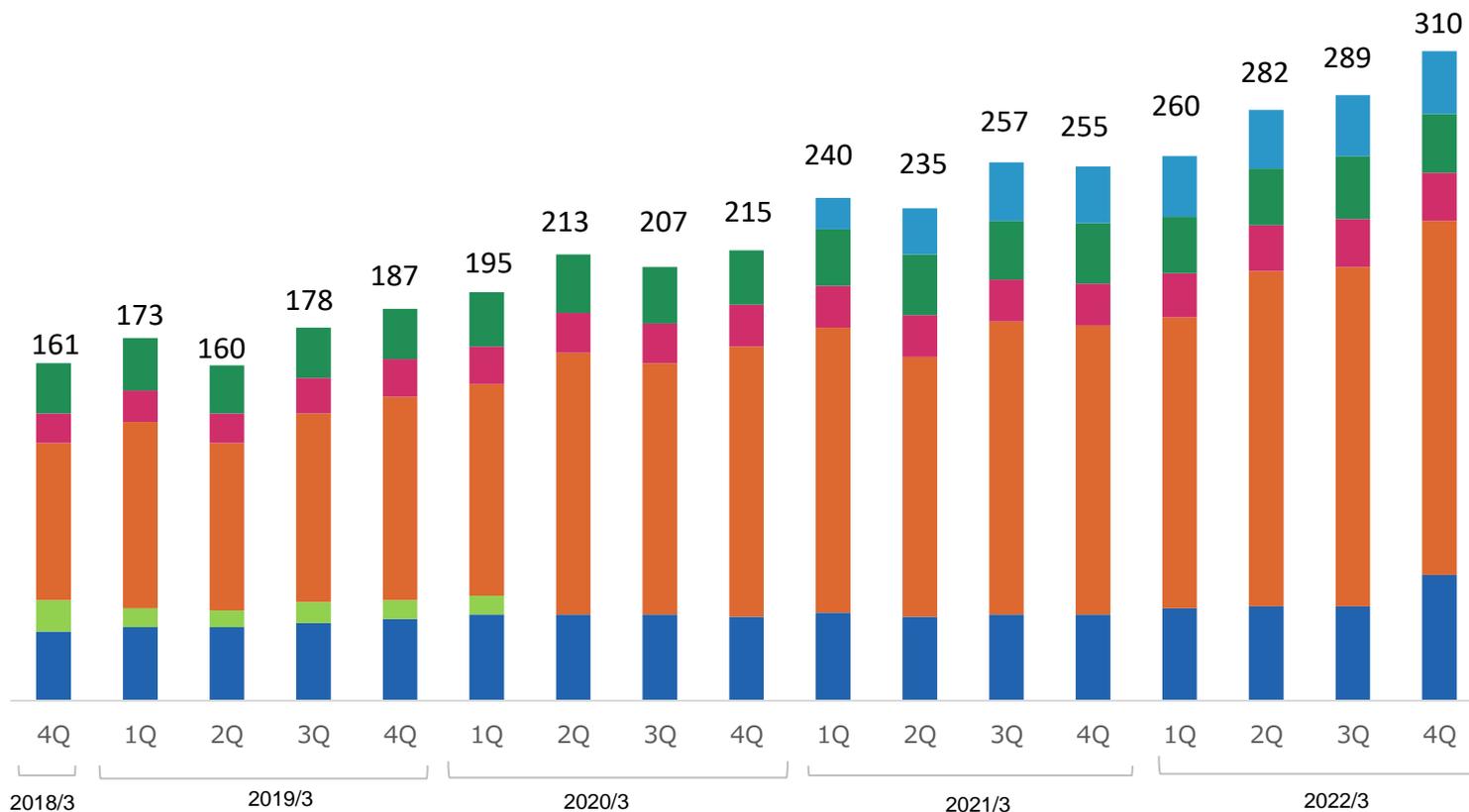
下半期の業績大幅伸長で一気に回復、累計で増益



※ 調整額はセグメント間の内部売上高または振替高

役職員数

事業規模の拡大に伴う採用及びM&Aにより増員

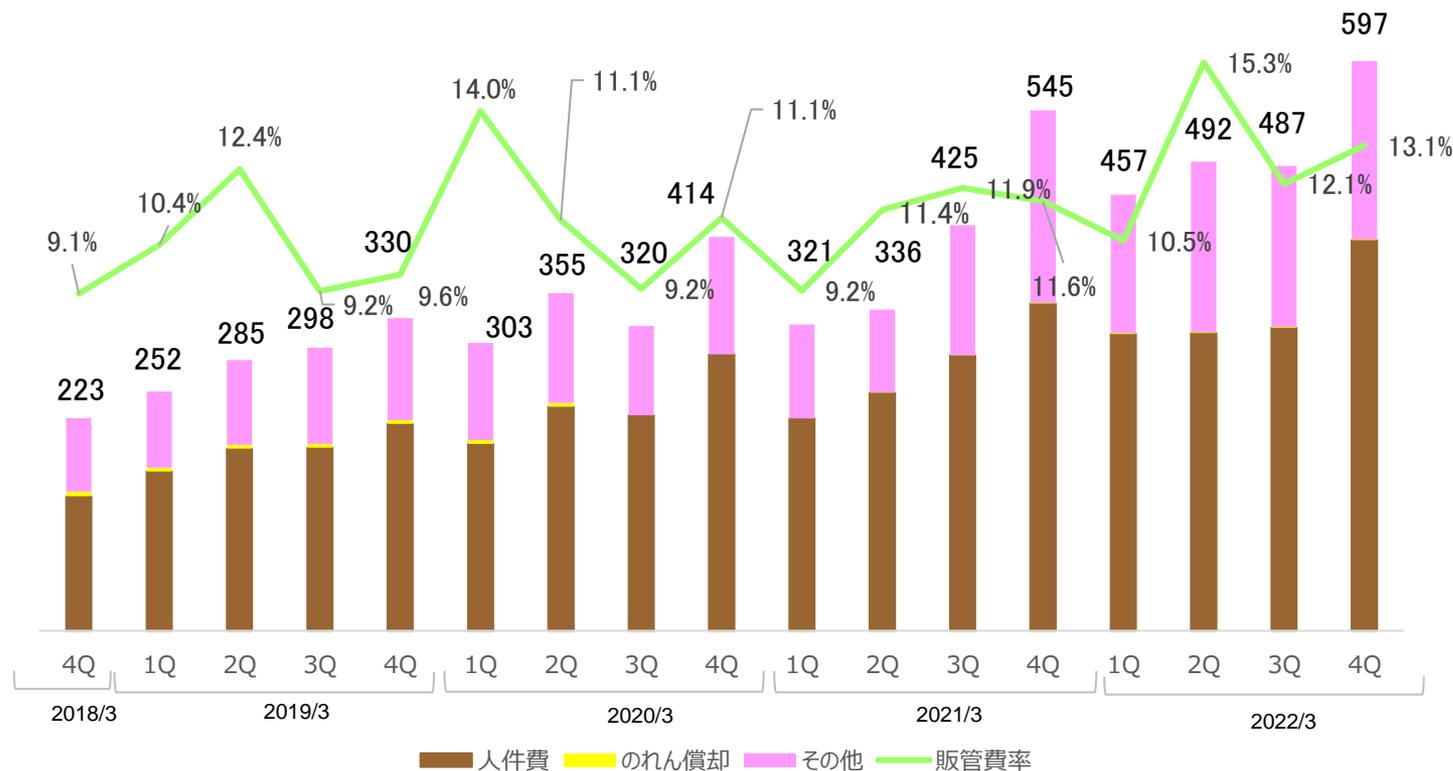


■メモリ製品製造販売 ■ウェブソリューション ■通信コンサルティング ■HPC ■ホールディングス ■その他

※ 各年度末実績、役職員＝役員、正社員、契約社員、アルバイト

販売費及び一般管理費（会計期間）

事務所移転、人員増等起因し増加

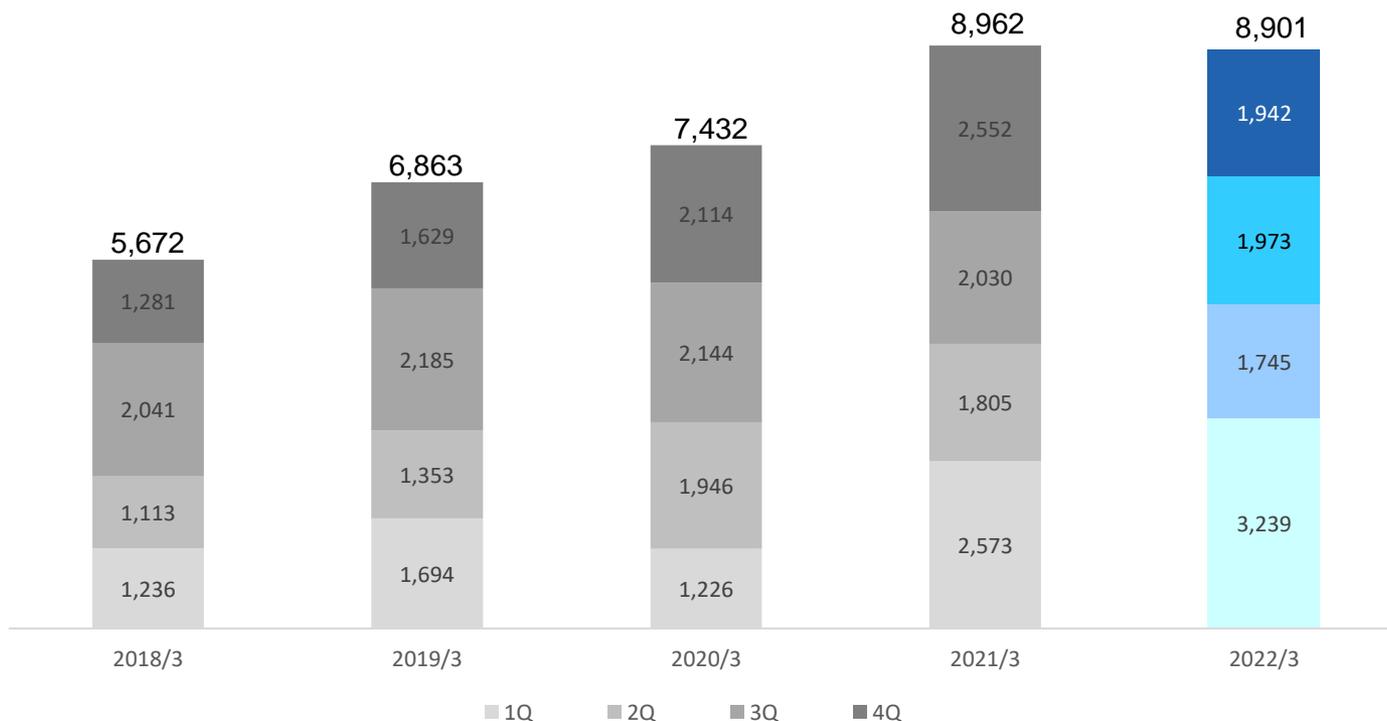


※ 人件費＝給与、役員報酬、賞与、退職金、通勤交通費、法定福利費、採用費、教育費、福利厚生費（引当金含む）

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ 会社説明

売上高

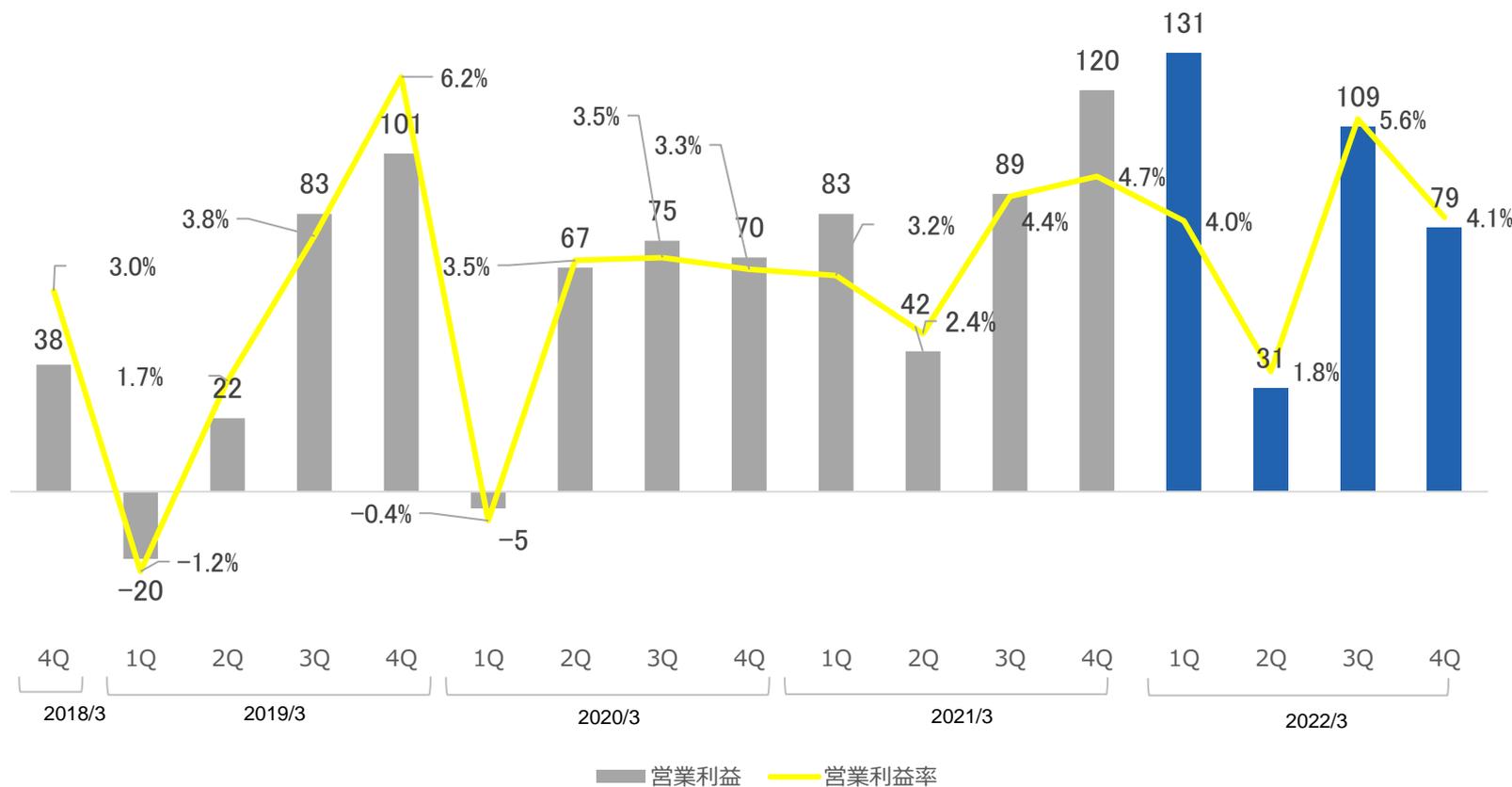
- ・ コロナ禍及びウクライナ危機などから電子部品の部材調達難
- ・ 部材価格の上昇を消化しきれず、通年ベースでの売上高が微減
- ・ 法人向けや産業用メモリ製品の需要は回復
- ・ 顧客の先行入手傾向が顕著であり販売機会の獲得・拡大を図る



5.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

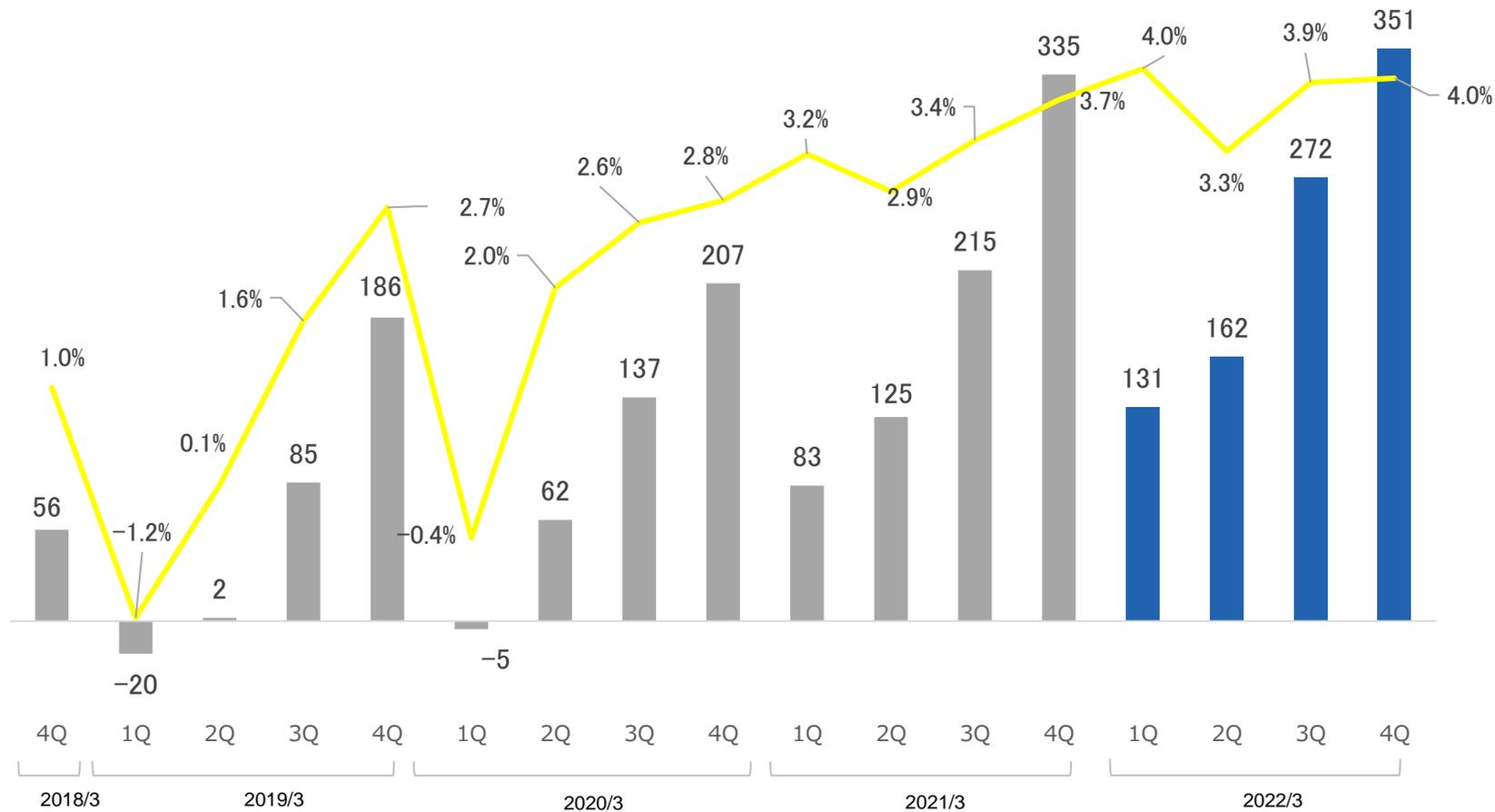
営業利益 会計期間

- ・半導体部材の原価高騰及び円安の影響により利益率が低下
- ・サプライチェーンの滞留により部材の調達に制限が生じ、購入需要を全て消化しきれず
- ・新製品の開発及び既存事業を活用した新ビジネスモデルの構築により利益増加図る



5.セグメント別概況 メモリ製品製造販売事業

営業利益 累計期間



■ 営業利益 — 営業利益率

ニューストピックス

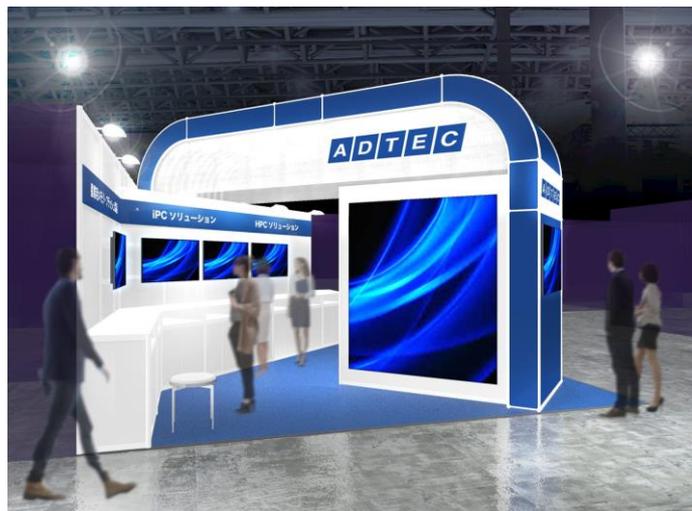
新製品の開発に注力、商業展示会へも積極出展

2022年1月19日～1月21日 [出展]
第6回 [関西]IoT&5Gソリューション展に出展

2022 Japan IT Week 関西内

第6回 関西 IoT&5Gソリューション展

インテックス大阪にて開催する2022 Japan IT Week 関西内の第6回 [関西]IoT&5Gソリューション展に出展。IoT、IPC（産業用パソコン）、HPC（ハイパフォーマンス科学技術演算計算機）の各ソリューション、及び、高い品質と信頼性、安心サポートの産業用メモリソリューションを展示。



次世代NANDフラッシュ 3D-TLC搭載の産業用メモリソリューションのラインナップを展示&発売開始



ニューストピックス

メモリソリューション製品も、注力、販売開始

IPC（産業用パソコン）販売開始

昨年5月より、ASRock Industrial社（本社：台湾）の産業用マザーボードや産業用パソコン等の取り扱いを開始し、自社の高品質な産業用メモリ／フラッシュストレージを組み合わせ、様々なIPC（産業用パソコン）ソリューションを、産業機器装置メーカー、法人企業、大学、官公庁、医療機関等の高品質、高耐久なパソコンを求めるお客様へご提供を開始しました。



Industrial & Embedded Motherboard



Industrial Computer System



AI Edge Computer



Network Appliance

HPC（科学技術演算計算機）販売開始

AMD社のAPP パートナー（販売店）として、HPC向けCPU「Ryzen Threadripper PRO」を搭載した4GPU 計算機の取り扱いを開始し、産機装置メーカー、法人企業、大学、官公庁、医療機関等の高度計算機を求めるお客様へご提供を開始しました。計算機の製造は、AKIBAホールディングスグループ内の株式会社HPCテックが担当し、Intel社CPUも含め、自社の高品質なメモリ／フラッシュストレージを組み合わせ、様々なHPCソリューションを、高度計算機を求めるお客様へご提供して参ります。



HPCT WR13as-4GP 特徴

- ・ワークステーション / 5U ラックマウント
- ・AMD Ryzen Threadripper PRO シリーズを1基搭載
- ・NVIDIA GPU 最大4基まで搭載可
- ・DDR4-3200 を8枚搭載 最大2TB
- ・3.5/2.5 インチ SATA3 : 4 bays
- ・2.5 インチ SATA3 : 2 bays
- ・M.2 PCI-E 4.0 : 4 slots
- ・U.2 PCI-E 4.0 : 2 sockets
- ・PCI-E 4.0 Expansion : 6 slots
- ・10GBase-T LAN : 1 port
- ・1GbE LAN : 1 port (shared with IPMI)
- ・VGA : 1 port (dedicated for IPMI)
- ・7.1 HD Audio
- ・USB 3.2 Gen2x2 support
- ・2000W Platinum Level Power Supply

ニューストピックス

新製品の開発に注力、個人向け製品も販売開始

高効率・高耐久性を誇るGaN (窒化ガリウム)対応や、4K出力対応のPower Delivery 対応充電器、及び、10種類の変換コネクタがセットになったUSB Type-CからDCへの変換ケーブル、最大出力 5A 95Wまでの、ノートパソコンの充電に適したマルチプラグケーブルを販売開始しました。
また、ゲーミングPCや画像・映像制作等、ハイスpek環境に要求される高速転送Gen4x4仕様 NVMe1.3 対応のSSDを始め、個人用途に最適なSSDシリーズもラインナップ強化しました。



ニューストピックス

IoT端末の開発及びクラウドビジネスの拡大強化

◆ なんでも、どこでも繋がるIoT端末（LPWA通信端末）の開発及び製品拡大

昨今IoT向けの通信規格が多数ある中で、どの規格が主流になるかは未だ解らない。
そこで、どの規格でも通信が出来るプラットフォーム端末の開発に着手。
2022年度中の完成並びに、市場投入に向け製品の拡張を開始した。



LPWA通信端末

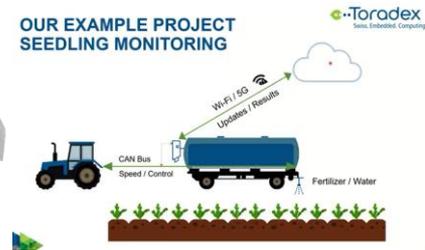
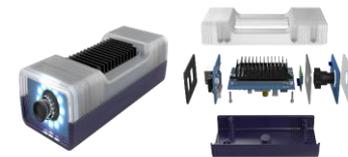
- ◆ センサーから有線/無線でデータを取得
- ◆ 各種LPWAでデータをクラウドへ
- ◆ 各種クラウドでデータ管理

◆ D0センサー

- 蛍光式溶存酸素-RDO (濃度、飽和%)
- 大気圧
- 外気温
- 水温

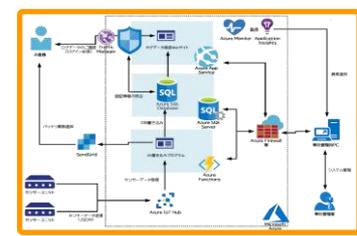


◆ AI画像センサー



◆ クラウドビジネスの立ち上げ及び拡大強化

これまでは主に、ハードウェア販売が主のビジネススタイルであったが、IoT端末によるインフラを利用したサービスビジネスも手掛けるべく、クラウドビジネスの基盤開発を行ってきた。
第一弾として、鉛バッテリーの遠隔監視システム（クラウド）の立ち上げを行い、今後更にサービスを増やすべく、基盤開発強化を行う。

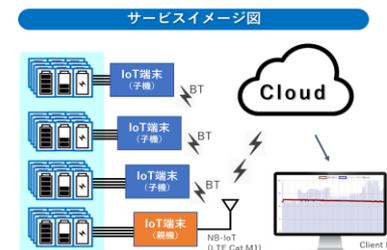


ニューストピックス

既存事業の拡大

◆ 鉛蓄電池遠隔監視端末のデモ出荷開始

継続開発中であった鉛蓄電池遠隔監視端末のデモ機出荷を開始。特に、基地局やビル施設、UPS、移動車輛のお客様から引き合いを頂いており、来期量産出荷に向けて評価継続中。また、リサイクルバッテリーでの利用や、鉄道、防災装置での採用検討も頂いており、量産体制強化を進めている。



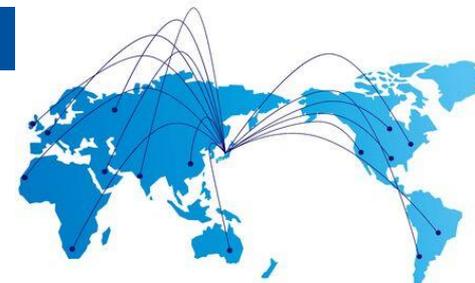
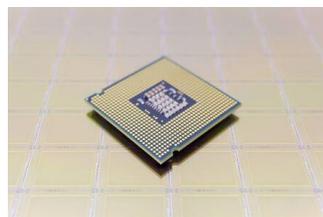
◆ 受託開発案件増加、開発可能範囲も拡大

これまで依頼を頂いていたお客様から、追加の開発案件を多数頂いた。また、計測器メーカーや、同業他社の製品も開発案件を頂き、特にソフトウェア開発に関する依頼では、これまで下回りの開発（カーネル、ファームウェア、ドライバ）が主だったが、アプリケーションの開発も受託できるようになった。



◆ 半導体部材調達ルート of 拡大と強化

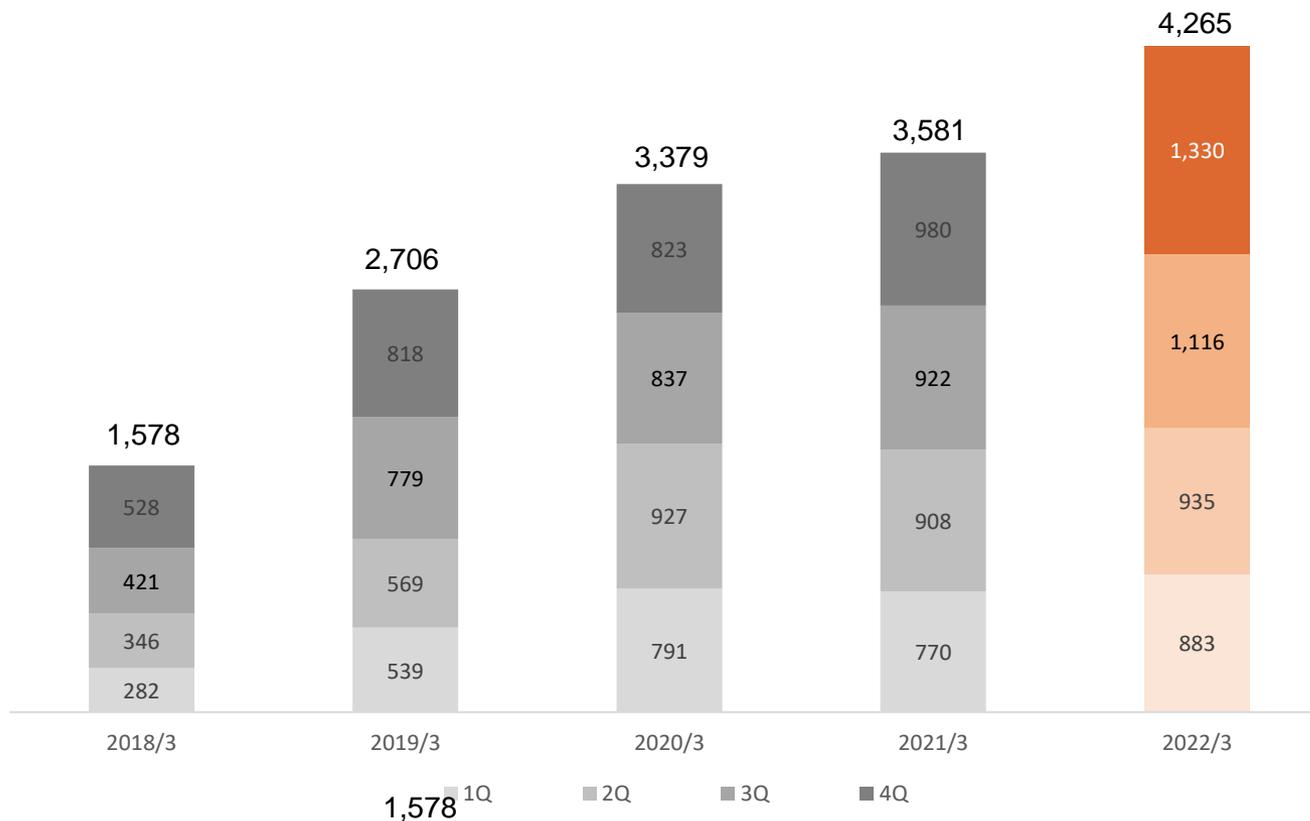
最近の半導体不足の影響で、製造難の状況が続いている。これに対し、部材の調達ルート拡大を図り、新たな調達ルートを多数確立した。また、同様に部材調達で困っているお客様への調達支援を行い、ビジネス拡大につなげる事が出来た。



1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ 会社説明

売上高

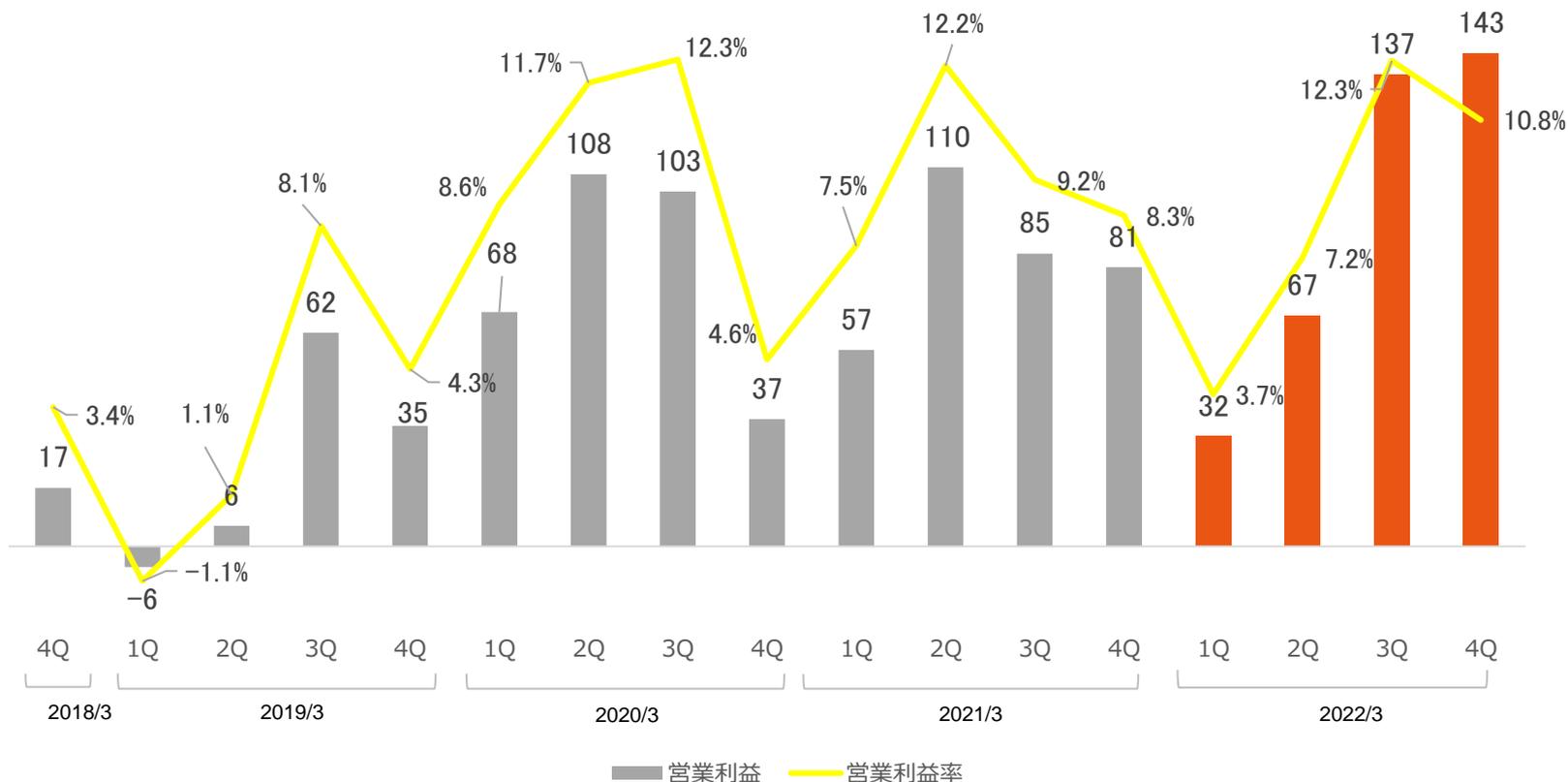
- ・前Qに続き単Qでの過去最高の売上高を更新し、通年においても過去最高の売上高を達成
- ・キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事等の工事受注件数が増加
- ・コンタクトセンターの増床により受注件数が増加
- ・グループ会社を合併により整理したことにより、テクニカルサポート及び工事関連のコール案件の受注が拡大



5.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

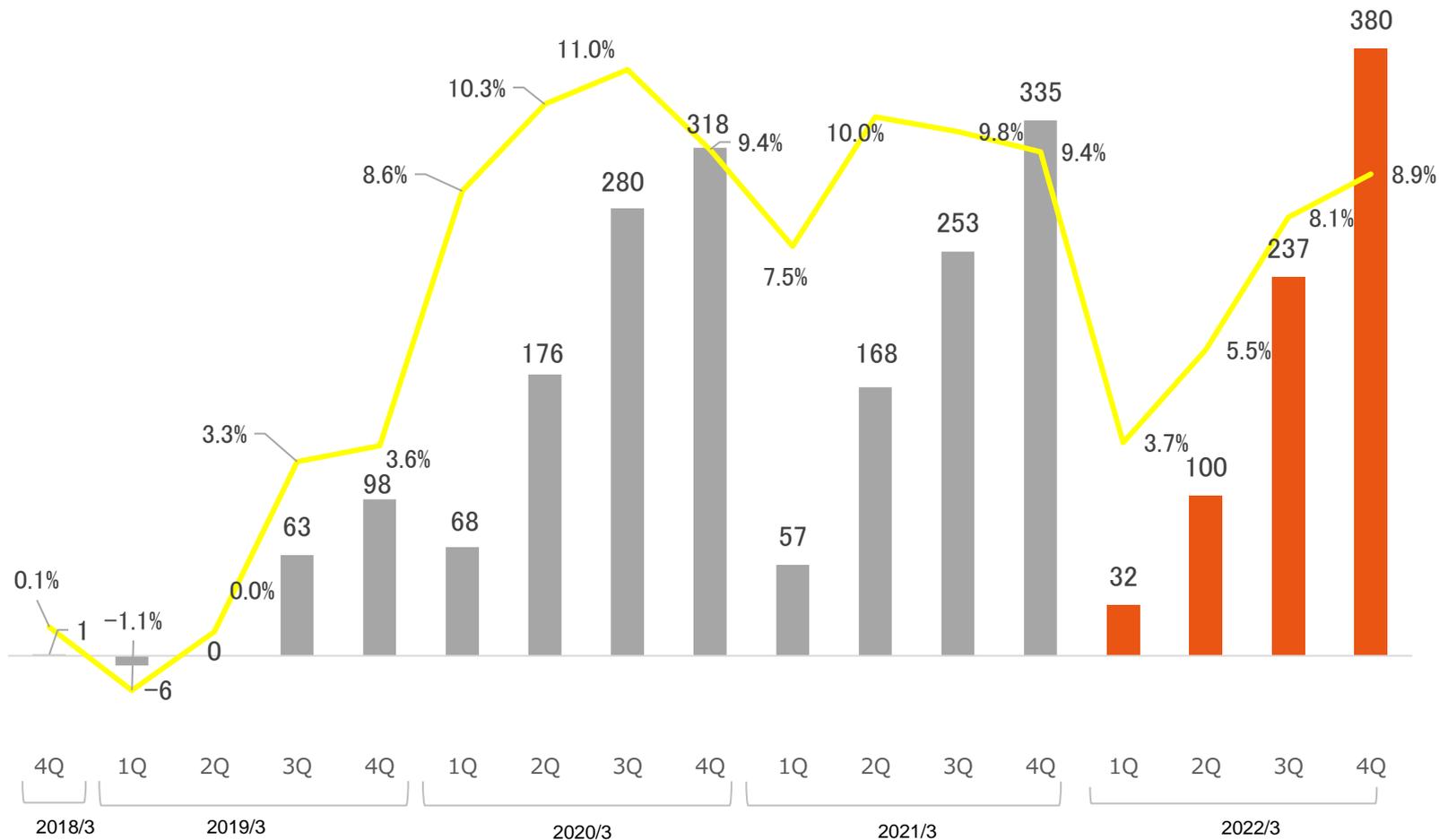
営業利益 会計期間

- ・ 前Qに続き単Qでの過去最高益を更新し、通年においても過去最高益を達成
- ・ キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事の受注件数増
- ・ コンタクトセンターの増床に伴う効率化の推進
- ・ 事業拠点の移転、増床、採用強化等の先行投資を吸収し増益



5.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

営業利益 累計期間



■ 営業利益 — 営業利益率

ニューストピックス

FY21_業容拡大に向け、カンパニーインフラを強化

FACILITY

1> 本社移転で総床面積2.2倍、1フロア集約で組織連携強化

複数フロアに分かれていた執務室・共有部を1フロアに集約。
社員間・部署間の連携強化と、デザインオフィスで社員ロイヤリティと採用を強化。

2> 東京コンタクトセンター増床

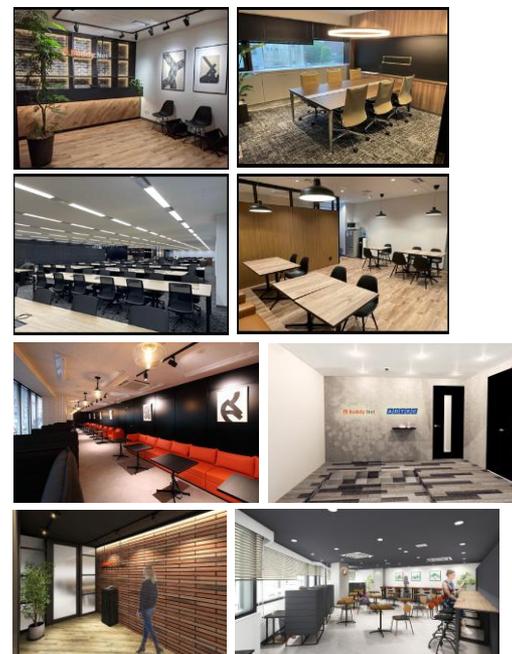
5G/IoTサービスのコンタクトセンター需要拡大を受け、東京コンタクトセンターを大幅に増床(約2.5倍)、デザインオフィスでオペレーターの労働環境向上。

3> 大阪オフィス移転・増床

関西エリアにおける5G・ローカル5G等の業務拡大に対応。

4> 和歌山コンタクトセンター増床

5G/IoTサービスの需要拡大で和歌山コールセンターを増床
～全国三拠点24時間365日の有人コンタクトセンターで事業立ち上げから運用支援～



SCALE

※2022年3月31日時点

- ▶ 総オフィス面積：昨対比 197%
- ▶ 従業員数：昨対比 129%
- ▶ 全国工事班体制：昨対比 201%



5.セグメント別概況 通信コンサルティング事業

ニューストピックス

Our Service

産業用ロボット／サービスロボット保守事業への取り組み

人口の減少による労働者不足や技術の伝承問題に加え、産業の自動化による安定生産と品質向上を背景に、経済産業省のロボット市場予測では、2035年に10兆円規模の市場になると予測されており、産業用ロボットやサービスロボットの市場規模は年々拡大していく見込みです。

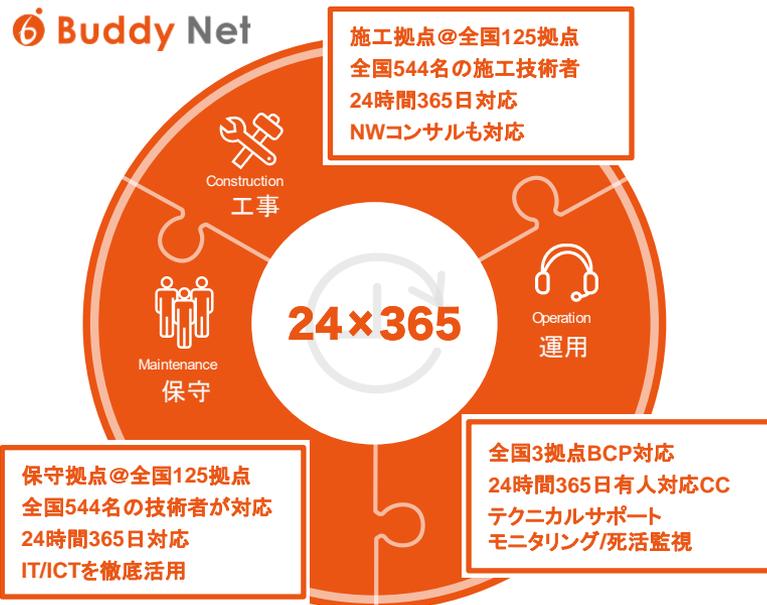
これらの市場を見据え、我々は既存事業としてのネットワークインフラ構築に加え、ロボットメーカーと提携し、産業用ロボットやサービスロボットの保守・運用事業への取り組みを開始いたしました。

▶通信建設工事業で構築した全国ネットワークを活用し、拡大が見込まれるロボット市場へ進出

Our Solution

IoTシステム向け24h×365d工事・運用・保守ワンパッケージを低価格で

6 Buddy Net



COVID-19の流行で、在宅勤務への移行が急速に進み、自動化とリモート管理の需要が高まり、少ない人員で運用効率とコスト削減を確保するために、IoTシステムがより重視され、市場規模が急速に拡大しています。また、比較的価格が高くIoTの浸透を阻害する要因の一つであった、IoTデバイスに使用されるセンサーのコストが急速に低下したことで社会全体でのIoTの採用率が大幅に上昇しました。

この状況下で、弊社へのIoTセンサーやロボット、各種ITデバイスの構築はもちろん、保守・運用・監視のご依頼が大幅に増加しています。

このことを受け、弊社では保有する下記のリソースを掛け合わせ、特にスタートアップの事業者様と、IoT導入黎明期の企業様に向けた低コストの工事・運用・保守のパッケージの提供を開始します。

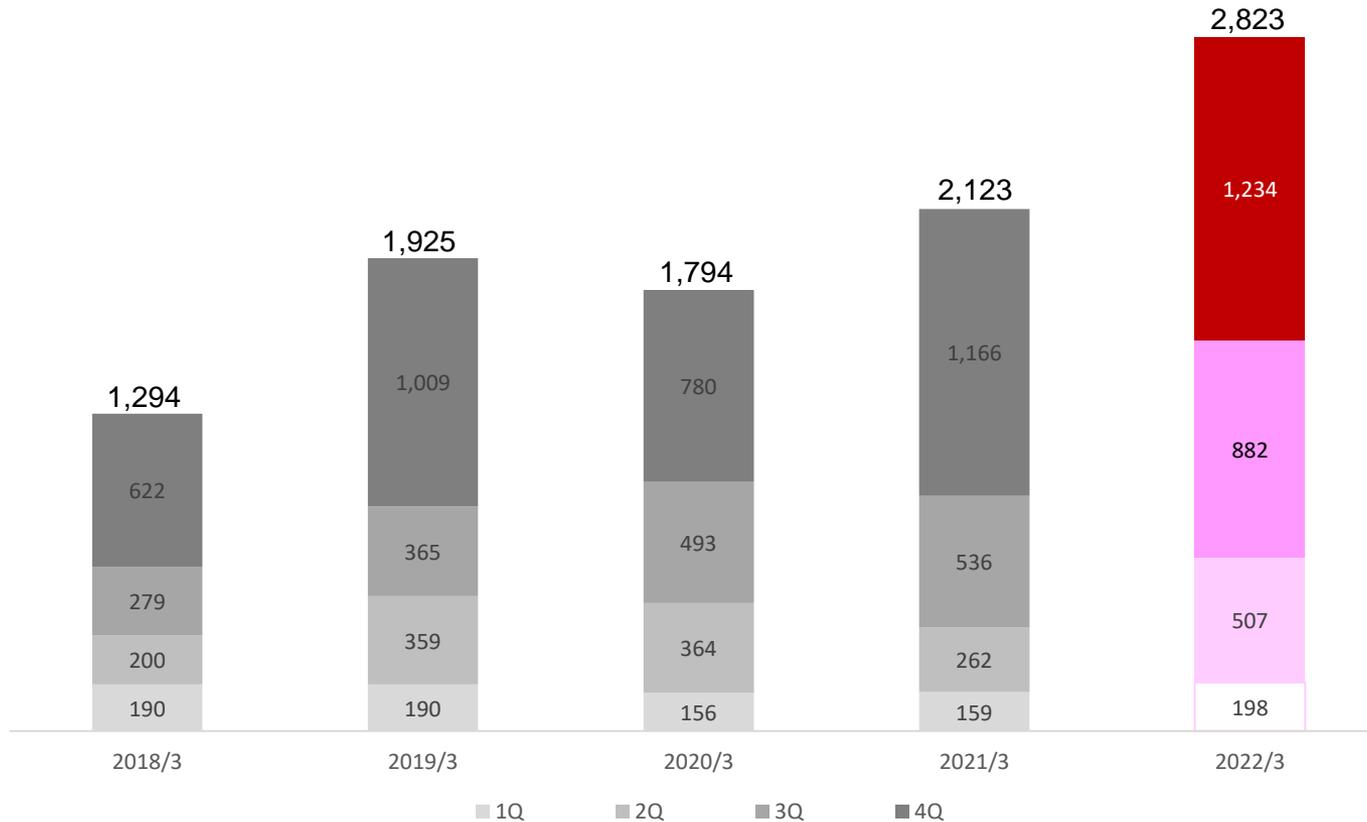
- 6 全国対応の工事体制
- 6 全国対応の保守拠点
- 6 ICT×コンタクトセンター



1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ 会社説明

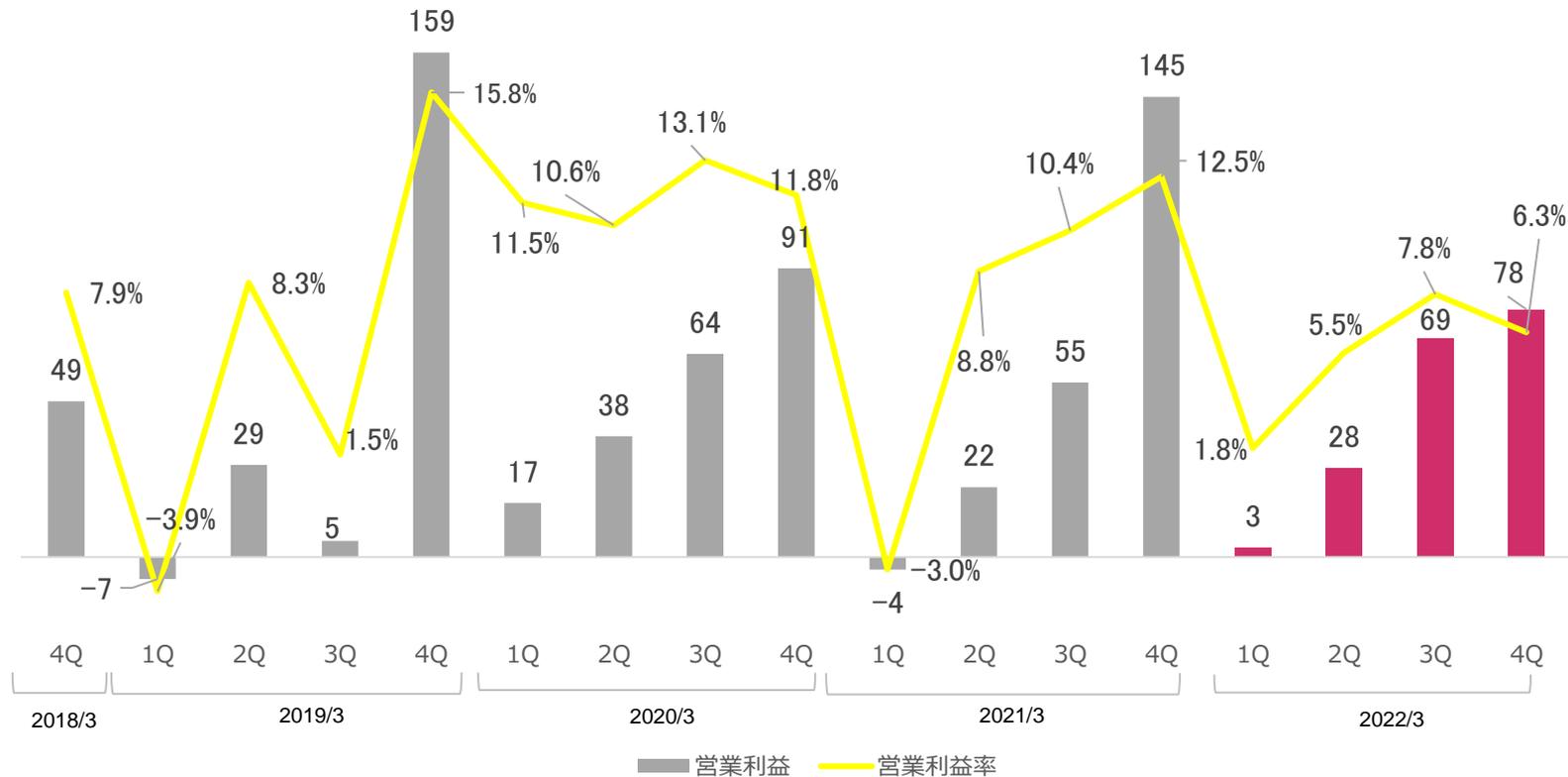
売上高

- ・ 単Q、累計とも過去最高の売上高を獲得
- ・ これまでの採用活動による人員増強の効果が売上拡大に貢献
- ・ 大阪営業所を開設し、西日本方面の営業強化



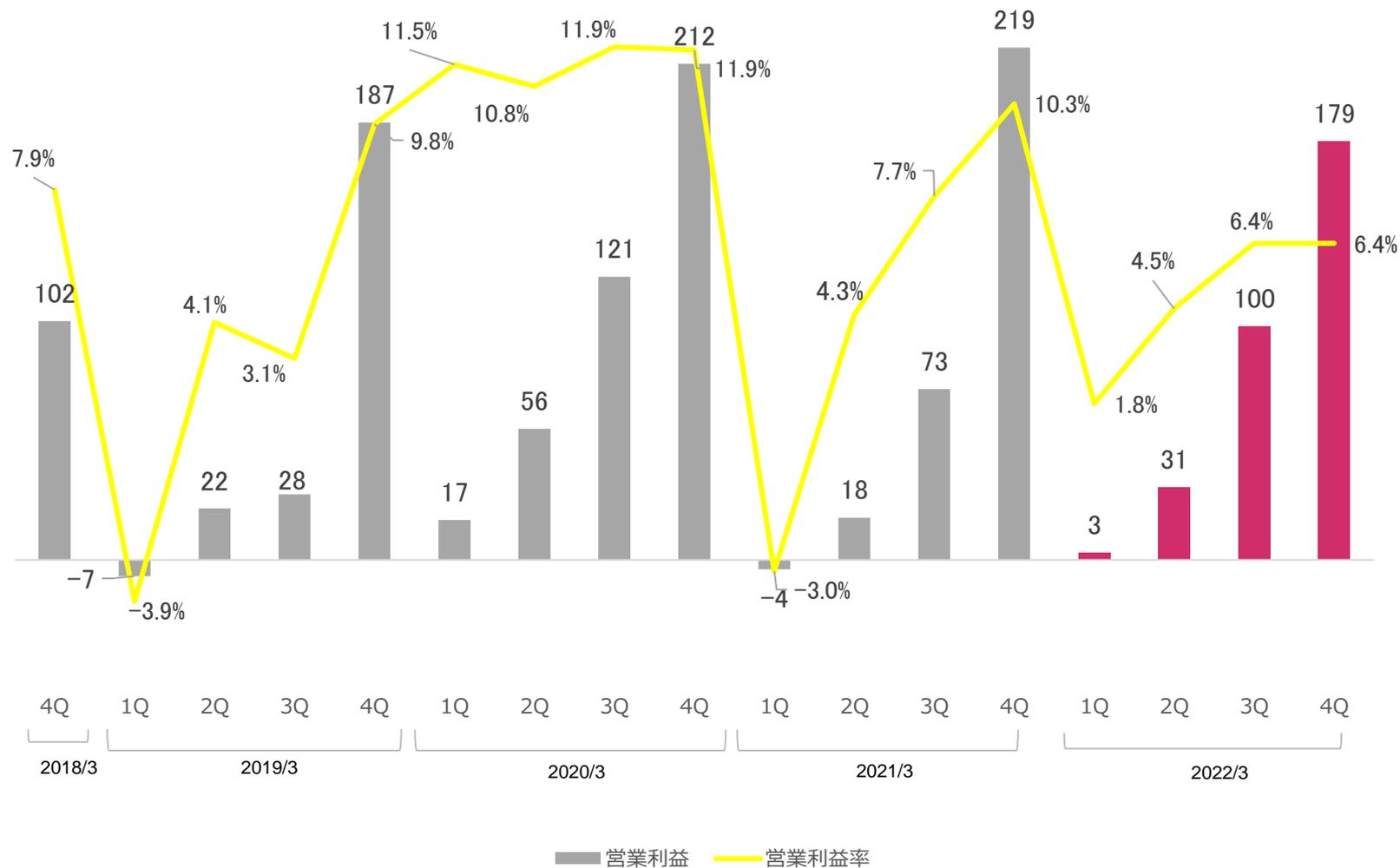
営業利益 会計期間

- ・半導体不足とコロナ禍及び円安の影響により部材単価が大幅に上昇し、利益を圧迫
- ・コロナ禍により対面営業が難しく、オンラインコンテンツ・ホームページコンテンツの充実による商機拡大を推進中
- ・将来の事業規模拡大のための人員増及び大阪営業所の開設により、販管費負担増



5.セグメント別概況 HPC事業

営業利益 累計期間

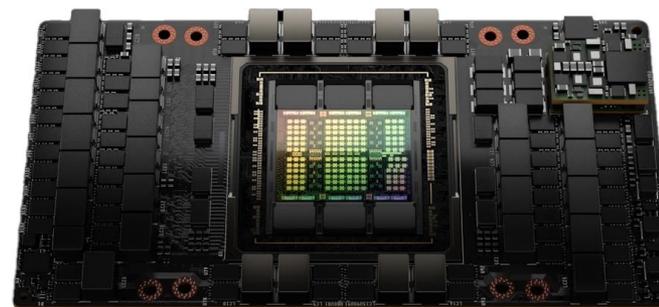
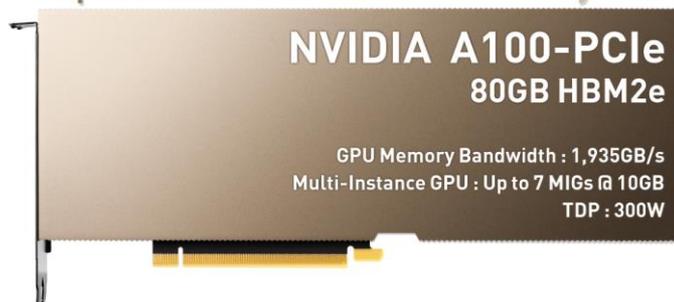


ニューストピックス

新製品のラインナップ拡大、キャンペーン実施

2022年3月 [キャンペーン]
NVIDIA A100 PCIe 80GB メモリ
搭載モデルを教育機関様向けに特別
価格にてご提供

Unprecedented acceleration at every scale



2022年4月 [新製品]
新たな GPUアーキテクチャ NVIDIA
Hopperと Hopperベースの GPU、
NVIDIA H100を投入。ハイパフォーマンス
で大規模なAIとHPCを加速します

2022年4月 [キャンペーン]
AI開発・ディープラーニング専用マシンを用途に合わせカスタマイ
ズ・設定した上で、特別キャンペーンにてご提供

ニューストピックス

アカデミア向けに順調に実績を積み上げ

2022年3月 [導入事例]

京都工芸繊維大学数値材料デザイン研究室様

コンピュータシミュレーションに活用する、
小型スパコンとも言えるGPU搭載サーバー
を納品



2022年4月 [導入事例]

大阪大学基礎工学研究科 長井研究室様

AI学習を加速するため、NVIDIA 社の GPU搭載アプライアンスサーバーである
NVIDIA DGX A100 をご導入

2021年10月 [営業所開設]

大阪営業所開設

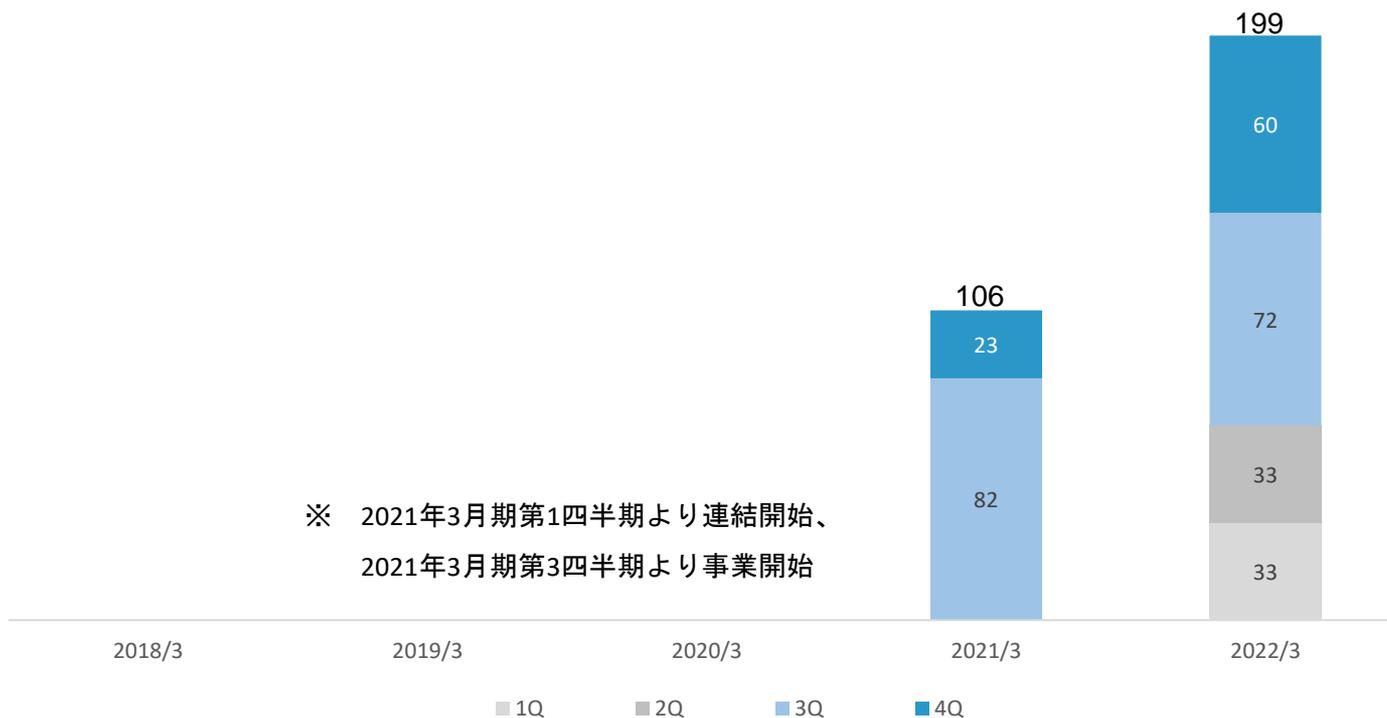
西日本エリアへの販路拡張に伴い大阪営業所を開設

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ 会社説明

5.セグメント別概況 その他事業(旅館)

売上高 会計期間

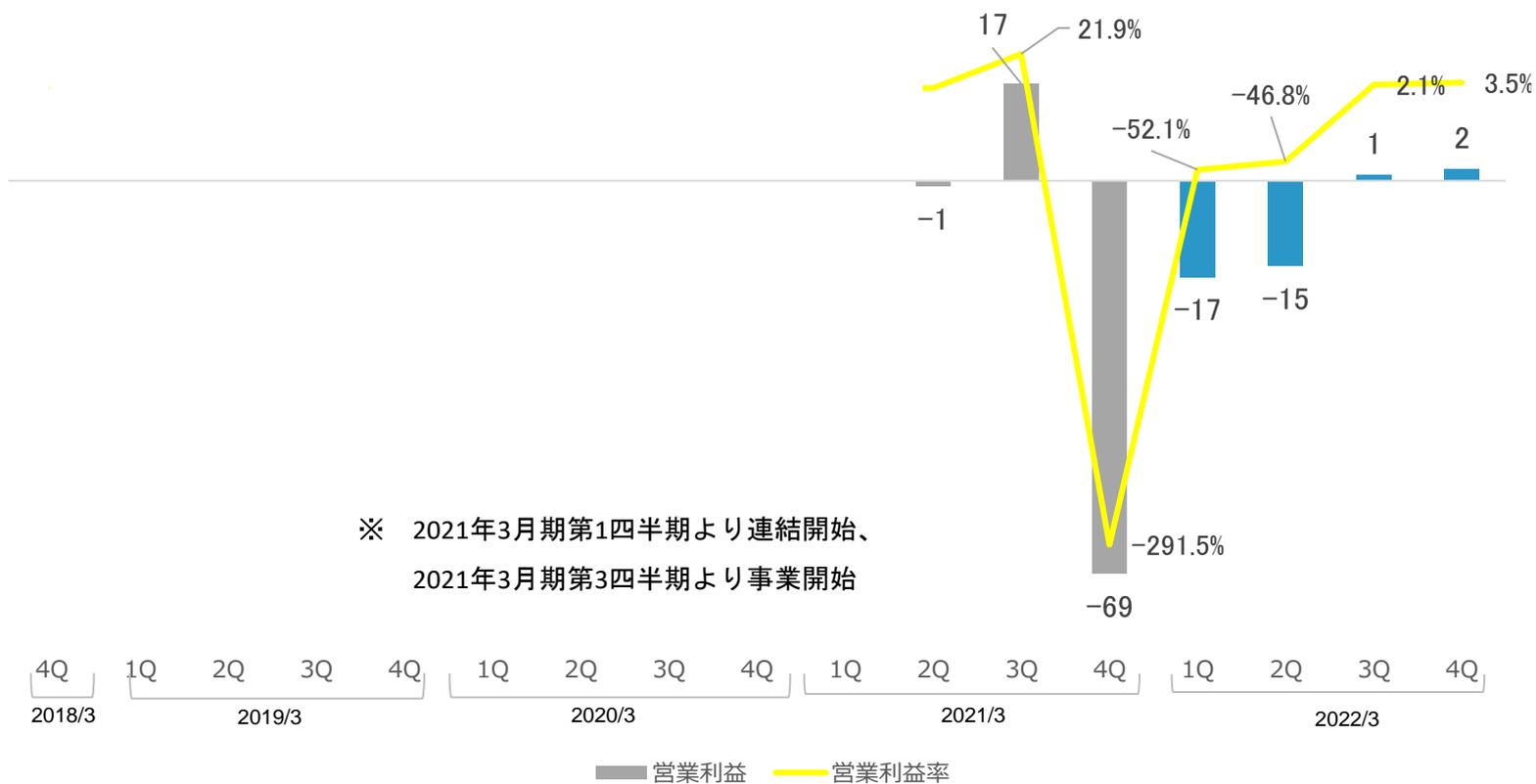
- ・ 2020年10月より営業開始
- ・ コロナ禍の影響を受け低調な稼働状況であったが、ワクチン接種が進んだことにより徐々に稼働状況は改善
- ・ コロナ禍の影響が大きい時期に、事業開始時から老朽化により利用休止中であった客室の修繕を進めたことにより稼働可能な客室数を増加



5.セグメント別概況 その他事業(旅館)

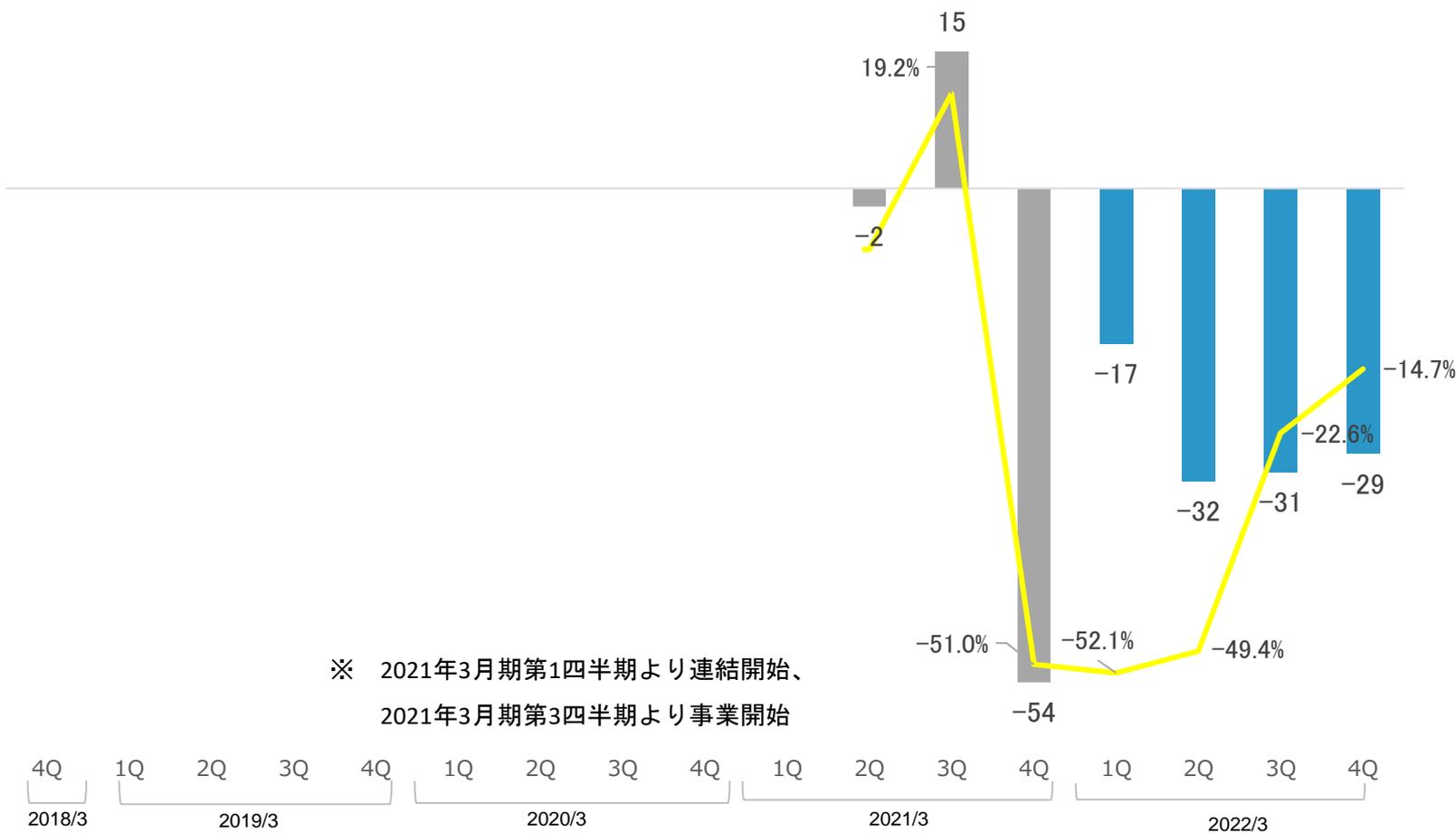
営業利益 会計期間

- ・ コロナ禍の影響が大きく、未稼働の老朽客室の修繕費用等も損益上重いものの、下半期において黒字へ反転
- ・ 老朽客室の修繕による稼働可能室数の増加により、繁忙期での収益機会の拾い上げが可能に
- ・ コロナ規制の緩和等により、利用者数の増加を見込む。また、リピート客の拾い上げにより収益を拡大



5.セグメント別概況 その他事業(旅館)

営業利益 累計期間



■ 営業利益 ● 営業利益率

ニューストピックス

タイアップイベントや各種プランの充実・ 館内設備の修繕による顧客満足度の向上を図る



ペット用品ブランドとのタイアップ企画でフォト
コンテストを開催
日帰りプラン・FREEドリンクプランなどの開始

客室設備の修繕実施（エアコン、風呂等）
老朽客室の修繕による稼働可能室数の増加で
売上UP

ニューストピックス

従業員教育の充実によるソフト面の強化・ 昨期に引き続き設備修繕によるハード面の強化



お客様の滞在中におけるサービスの
見直しを図り単価UPを目指す
SNS対応の強化及び口コミ内容の充実



顧客に向けた特典を用意し直接の予約を増やし
利益率のUPを目指す

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ会社説明

6.総括

総括

2022年3月期においては、新型コロナウイルス感染の流行継続や変異株の発生、ウクライナにおける政情の不安定化など、経済環境における先行き不透明感が増し、それらの影響などによるビジネス機会の制限、円安、部材等の価格上昇及び調達制限などが生じ、厳しい経済環境が継続しました。当社ではメモリ事業において、このような厳しい経済環境の中、前年並みの業績を維持したほか、通信コンサルティング事業において更なる拡大を果たした事などから、売上、最終利益とも過去最高を達成いたしました。

2023年3月期では、コロナ禍及びウクライナにおける政情不安等から先行きが不透明であるものの、事業努力により前期より売上の拡大を見込む。また、利益面については、原材料高の継続を想定に織り込み、また、M&Aや新規事業投資に掛かる費用を見込んだため減益を予想するが、既存の事業における業績の確保、新規商材の投入、成長事業の更なる拡大を図り、業容の拡大を図って参ります。

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	2023年3月期 予想	前期比
売上高	14,742	16,166	109.7%	16,500	102.1%
営業利益	697	721	103.5%	650	90.1%
経常利益	682	711	104.2%	640	90.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	345	382	110.6%	350	91.5%
一株当たり当期純利益	37.65 円	41.62 円		38.10 円	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく仮定に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見通し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません

1. トピックス
2. 2022年3月期通期決算
3. 2023年3月期業績予想
4. 2022年3月期第4四半期業績
5. セグメント別概況
 - ①メモリ製品製造販売事業
 - ②通信コンサルティング事業
 - ③HPC事業
 - ④その他事業
6. 総括
7. 参考資料 AKIBAホールディングスグループ 会社説明

会社概要

<商号>

株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）

<上場市場>

東証スタンダード（証券コード：6840）

<設立>

1983年2月17日

<資本金>

7億円

<事業内容>

グループ会社の統括及び運営

<決算期>

3月末

<役職員数>

310名（連結 2022年3月末日）

<本社所在地>

〒104-0045

東京都中央区築地2-1-17 陽光築地ビル

Tel : 03-3541-5068(代表) Fax : 03-6260-6258

<役員>

代表取締役社長 馬場 正身

取締役 管理本部長 CFO 五十嵐 英

取締役 管理本部副本部長 富山 理布

取締役 グループ監査室長 後藤 憲保

取締役（社外） 丸山 一郎

取締役（社外） 黒部 得善

取締役（社外） 後藤田 翔

常勤監査役 石本 圭司

監査役（社外） 西田 史朗

監査役（社外） 中川 英之

補欠監査役（社外） 藤浪 努

<会計監査人>

KDA監査法人

<株主名簿管理人>

三井住友信託銀行株式会社

<顧問弁護士>

原 大二郎（ライジング法律事務所）

谷口 明史（北浜法律事務所）

1983年（昭和58年）	2月	株式会社アドテックを設立
1993年（平成5年）	6月	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
1998年（平成10年）	11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年（平成16年）	12月	ジャスダック証券取引所（東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2013年（平成25年）	5月	株式会社エッジクルー（現 連結子会社）を設立
2015年（平成27年）	1月	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収
同年	10月	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
同年	12月	株式会社AKIBA LABO福岡を設立。福岡県飯塚市においてソフトウェア開発拠点を設置
2016年（平成28年）	3月	iconic Storage株式会社を買収
2017年（平成29年）	1月	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
2019年（令和元年）	7月	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
2020年（令和2年）	5月	株式会社ダイヤモンドペット&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
同年	10月	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」 グランドオープン
同年	10月	株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収
2021年（令和3年）	4月	株式会社バディネットがiconic Storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併
同年	10月	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収
2022年（令和4年）	4月	東京証券取引所の市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行

グループ企業一覧



株式会社AKIBAホールディングス

【純粋持株会社】
グループ会社の統括及び運営

メモリ製品製造販売事業

株式会社アドテック、シーアールボックス株式会社



メモリ製品の製造・販売
パソコン周辺機器等の販売
IoTソリューション事業
電子路開発・設計・製造

通信コンサルティング事業

株式会社バディネット



エンジニアリング事業
コンタクトセンター事業
BPO事業
通信コンサルティング事業
人材派遣・人材紹介事業
システム開発・受託事業

HPC事業

株式会社HPCテック



科学技術コンピュータの製造・販売

その他事業

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート



旅館事業
ペット商品事業
IT事業
イベント事業
不動産事業

独自の技術開発力に基づいた高品質・高付加価値な製品を市場に提供し続けます。

代表取締役社長 下津 弘享

IT技術の目覚ましい進歩が次の時代の大きな変革となっており、産業界においてもIT技術のさらなる活用と研究・開発、並びに無人化や省力化を実現する自動化技術が進んでいます。私たちアドテックが目指すのは、次の時代へと繋がるテクノロジーを応用した製品やサービスの開発です。これからもアドテックは、ハードウェア、ソフトウェア分野における各種ITソリューションの提供並びにメモリ関連製品の技術の向上を図ります。そしてIT時代の重要な架け橋になる企業となることを目指し、社会の発展に貢献して参ります。

事業内容

メモリ製品製造・販売事業

パソコン・サーバ用増設メモリ、SDカードや microSDカード、USB フラッシュメモリ、SSD、CFカード、CFastカード等を製造・販売を行います。産業用・工業用・組込用途に適した部品固定・長期安定供給の製品群も数多くラインナップしています。

Memory module

メモリモジュール

- ▶ パソコン適合検索サイトをご用意
パソコン・サーバへの対応可否も容易に検索可能
- ▶ 高品質かつ長期安定供給体制の産業用向け製品の多数の納入実績



Flash Memory

フラッシュメモリ

- ▶ 民生用向け製品では、データ復旧サービスが付属した安心保証（一部製品）
- ▶ 豊富なラインナップの産業用向け製品の多数の納入実績



IoTソリューション事業

自動運転やスマートメーター、自販機まで、意識せずにインターネットに繋がるIoTが、広い範囲で我々の生活を支えています。当事業部は、様々な規模のIoTシステムと共に、関連機器、マイコン機器等についても、開発、製造、販売まで取り扱っています。

IoT System

IoTシステム

- ▶ IoTシステムとモデム、通信モジュールを用いたIoT端末の開発
- ▶ 実績のある協力会社と共に様々な分野のIoTシステム開発に対応します。



Toradex®

トラデックスモジュール

- ▶ ARM系CPUモジュール
- ▶ Toradex® の代理店販売、キャリアボード開発及び開発サポートを行います。



拠点

▶大阪営業所

大阪府大阪市中央区道修町1-5-18
朝日生命道修町ビル6階

▶R&Dセンター

東京都町田市小山ヶ丘2-2-5-8
まちだテクノパーク センタービル7、8階

取り組み

最先端メモリからレガシーメモリまでの幅広いラインナップをサポート

DDR4メモリ、M.2 SSD等の最先端メモリから、産業用で長期需要があるDDR1メモリ、SDRAMメモリ、CFカード等のレガシーメモリ迄、幅広い製品ラインナップと製品サポートを継続展開していきます。

メモリメーカーの枠に捉われず、周辺機器メーカーとしての新しい取り組み

メモリ製品だけでなく、お客様のニーズにお応えする新しい周辺機器の製品開発を積極的に行っており、幅広いラインナップの展開、販売を行い、お客様のお役に立てる企業として、成長して参ります。

IoTシステム、端末 設計開発

- ▶ IoTシステムの構想、端末開発など、お手伝いします。
- ▶ LTEモデムからLoRaなどのLPWAモデムなど、多くの通信機器の実績があります。
- ▶ ハード/ソフト双方ご相談ください。

OEM機器 受託開発/販売

- ▶ 民生/医用/車載等、様々な分野の受託開発に対応します。
- ▶ OEM機器の開発、量産、販売及び、サポートを行います。
- ▶ 構想検討から販売まで、実績のある協力会社と共に取組みます。

ARM系CPUモジュール販売

- ▶ NVIDIA、NXP製(ARM系)CPUモジュールToradex®の代理店販売
- ▶ Toradex®モジュールを拡張するキャリアボードのカスタム開発
- ▶ Toradex®モジュール及びキャリアボードの技術サポート



名 称 : シーアールボックス株式会社
 設 立 : 2000年2月
 資 本 金 : 17,000,000円
 本 社 : 東京都八王子市大塚631-1
 U R L : https://www.crbox.co.jp/

技術、品質、コストパフォーマンスを追求 すべきたゆまぬ努力をし、社会に貢献する。

代表取締役 菊地 仁志

私もシーアールボックスは「回路設計における真の目的とは」を常に意識しその潜在化した問題を顕在化し、回路設計のアイデアで高次元にクリアすべく日々研鑽を重ねております。培ったアナログ技術にデジタル技術や既成概念にとられない最新技術を融合し、主力である電源のみならず様々な分野の課題を解決へと導くことが我々の使命と肝に銘じ、最高のパフォーマンスを発揮いたします。

事業内容

各種マイコンユニット、電源モジュール等、電子回路開発・設計・製造

AC/DC、DC/DC、マルチ電源などの各種電源およびアイソレーションアンプ等のカスタム設計を得意としています。特に産業機器への採用実績が多数あり、高信頼性、長寿命、また長期安定供給への対応を得意としています。

自社開発製品

コンバータ

- ▶ AC/DCコンバータ (マイコン搭載、バッテリー充電制御・残量計測機能、多出力同期SW、PFC+LLC[力率改善・ソフトスイッチング] etc.)
- ▶ DC/DCコンバータ (モールド式オンボード・マルチ出力・低ノイズ・高電圧入力・超低温起動・ケミコンレス・医療用高耐圧・車両搭載用[高信頼性] etc.)

DCモータ駆動回路

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

インバータ

- ▶ マイコン搭載、半導体SW式、リレー式etc.

アイソレーションアンプ

- ▶ 2ポート式、3ポート式、高耐圧、高精度トランス方式etc.

各種センサ回路、制御回路

- ▶ 各種センサ回路 (マイコン搭載高精度露点計、温度計、湿度計、降雪センサ、ガスセンサetc.)
- ▶ 各種制御回路 (電力制御回路[マイコン搭載・低ノイズトライアック制御]、各種冷暖房機用制御回路、ヒータ温度制御、ヒートポンプ制御回路、蓄熱暖房器、電気ボイラ、床下暖房、リモコンetc.)

LED関連

- ▶ AC駆動、DC駆動、電球素子、1/fノイズ制御etc.

柱上装置

- ▶ 搬送波通信制御装置



主要取引先

- ▶ 代理店 : エレマテック(株)、(株)レスターエレクトロニクス、(株)システック、富士エレックス(株)、(株)ジェムコ、日研機器(株)
- ▶ 主要顧客 : (株)安川電機、(株)日立製作所、(株)東光高岳、サンポット(株)

※敬称略、順不同

海外パートナーシップ企業 (Universal Microelectronics社)

1984年に設立された台湾・台中市に本社がある台湾上場企業です。セミカスタマイズを得意としておりますので、ご要望にお応えした仕様で量産納入します。

会社概要

- ▶ 工場 台中本社工場、中国・深圳工場、ベトナム・ハノイ工場
 ※最新設備による最良の生産管理システムを導入し、日本企業からも高評価
- ▶ 取扱製品 電磁製品、電源製品、各種センサ、EMS



CRBOXの役割

- ▶ 輸入業務 (輸入事業者登録取得)、貨物の纏め輸入による輸送費コスト削減
- ▶ 不具合発生時の一次解析対応
- ▶ 設計支援 (設計を行い生産をUMECで行うことも可能)
- ▶ お客様のご要望を最大限に受け入れた最適提案を実施



拠点

▶ 仙台事業所

宮城県宮城郡利府町花園2-6-1

取得認証

- ▶ 特許 ▶ 特開2010-054383 ガスセンサ装置 2010年03月11日 特許4326582
- ▶ 特開2009-270891 ガスセンサ装置 2009年11月19日 特許4353999
- ▶ 特開2008-301565 トライアック制御装置 2008年12月11日 特許4534063
- ▶ 特開2005-102050 遠隔操作システム 2005年04月14日 特許4208685
- ▶ 特開2001-037276 直流モータ駆動回路 2001年02月09日

通建テック™で建設業務を圧倒的に低コスト化。 代表取締役社長 堀 礼一郎

IoT/5G時代に通信建設を変革していきます。

IoTの時代は、エアコンや冷蔵庫、椅子や電球など、目に見える全てのモノが通信に繋がる世界。それは、革新的な世界であるからこそ旧態依然のままでは対応できず、新しい考え方や手法が求められています。我々は、これまでビジネス・インテグレーターとして培ったノウハウと技術力にAKIBAホールディングスグループが誇るITの総合力を掛け合わせ、この課題を解決します。そして、より一層便利な社会を創り守っていくために、益々の企業規模拡大を目指していきます。

事業内容

■ エンジニアリング事業

高度化する企業のネットワーク・インフラ構築を確かな技術力でサポートします。

Mobile Engineering

モバイルエンジニアリング

移動体通信局構築工事
 5G/L5G/LPWA等、
 IoT構築、電波不感知対策、
 無線基地局設計
 屋内電波対策工事

Network Engineering

ネットワークエンジニアリング

FTTH光・WAN・LAN、
 電気・電話設備、
 Wi Fi構築、ネットワークカメラ

Field Support

フィールドサポート

全国保守サポート
 IT機器の設置・交換



通信建設 テック™

ICTの徹底活用により、
 通信建設を圧倒的に低コスト化。
 IoT/5G時代に、
 通信建設を変革していきます。

拠点

■ 営業所

【新宿営業所】新宿区新宿6-5-1 新宿アイランドタワー6F

【大阪営業所】大阪府大阪市中央区道修町1-5-18

朝日生命道修町ビル6階

【福岡営業所】福岡市博多区博多駅中央街5-11第13泰平ビル3F

■ コントクトセンター

【東京CS】中央区築地

【和歌山CS】和歌山市本町

【福岡CS】福岡市博多区博多駅中央街

■ コントクトセンター事業

Contact Center Service

コンタクトセンターサービス

高品質、スピードをキーワードに掲げ、お客様のご要望に応じた最適なコンタクトセンターソリューションを提供します。

カスタマーサポート、テクニカルサポート、アウトバウンドコール、コンサルティング、CRMソリューション

■ BPO事業

BPO Service

BPOサービス

お客様の課題を業務設計から業務の効果分析、改善案実行による業務効率化まで一括して支援します。

スキーム構築	マーケティング
営業支援	サポートデスク
施工・設置	設計・開発支援
保守・メンテナンス	バックオフィス等

■ 人材派遣・人材紹介事業

Buddy Staffing

パディスタッフィング
 企業活動に必要な様々な分野の人材を紹介します。

施工管理、オフィスワーク、コールセンター、セールス・プロモーション、軽作業他

取得認可

▶ 労働者派遣事業

許可番号：派13-306504

許可年月日：2016年6月1日

▶ 職業紹介事業

許可番号：13-ユ-308341

許可年月日：2016年12月21日

▶ 商標

「通建テック」出願番号 2020 100938

「通信建設テック」出願番号 2020 100937

▶ 特許

ポリマテリアル充填工法

▶ 建設業許可

許可番号：電気工事業
 (特2)第140501号、
 電気通信工事業(般30)
 第140501号

許可年月日：2013年8月30日

■ 通信コンサルティング事業

Mobile Consulting

モバイルコンサルティング

全国600名の経験豊富なセールsteamと実績のあるコールセンターが貴社の売り上げ拡大をサポートします。

新規訪問営業	契約・収納
ルート営業	カスタマー
インバウンドサービス	サポート
アウトバウンドサービス	

■ システム開発・受託事業

System Engineering

システムエンジニアリング

情報通信機器を中心にハード機器・ソフトウェアの設計開発をサポートします。

各種ソフトウェア開発(受託・SES)
 ネットワーク構築
 IoT研究開発
 エンジニアリングサービス
 コンサルティング

取り組み

安全品質管理の体制

当社は、作業所の安全確保と安全な職場環境を形成することで、労働災害発生を未然に防ぎ安全でかつ安心な品質を確保します。

- ▶ 安全パトロールの実施
- ▶ 事故事例検討会の実施
- ▶ 安全衛生協議会の実施
- ▶ 情報セキュリティー事務局の設置
- ▶ 施工安全計画書の策定

個人情報保護

当社は、社会の通信インフラに関わる業務並びに人材サービス(労働者派遣等)に関わる業務に携わっております。これら業務を行うに当たり、個人情報保護という社会的責任を認識しプライバシーの保護、個人情報に関する法規制等を遵守し、事業活動を行うためにプライバシーマークを取得し、業務を実行しています。



国際的な競争力の強化と人々が自己実現できる 豊かな社会を目指し最善の努力をつくします。

代表取締役 奥山 義弘

21世紀に入り日本を取り巻く国際情勢は目まぐるしく、大きな変動の中で産業界や大学・研究機関の役割・今後の進むべき道も大きく変わろうとしています。企業間の国際競争もそして同じ業界内での連携や競争または異業種との交流もその激しさとスピードを一層増してきています。その中において新たな技術やサービスの開発の基となる科学技術コンピュータ（HPC）やIT技術は国家や企業のよりよい未来を創造する事でしょう。我々はこの激動する社会・経済の変化の中で、世界的に繋がったインターネットのように人と人の繋がりを大事にして、新しい世代を担う大学・研究機関・企業の方々の発展と地球環境の保全に貢献したいと心から願う次第です。

事業内容

科学技術コンピュータ製造・販売事業

高度な科学技術計算機を必要とする大学、研究機関、企業の研究開発部門向けに、科学技術計算分野向けコンピューターの製造、販売を行っております。天気予報、地震予測、自動運転、電子機器や新素材の開発などに用いられ、ビッグデータ解析やAI（人工知能）、ディープラーニング（深層学習）といった分野にも活用されています。

Hardware

ハードウェア

デスクトップ計算機
 GPU計算機
 Xeon Phi計算機
 ラックマウント型計算機
 ボータブル型計算機
 大容量ストレージサーバ

サーバメモリ
 インフィニバンド
 フラッシュストレージ
 無停電電源装置
 サーバラック・静音ラック

Software

ソフトウェア

クラスタ管理ツール 物理・電子
 ジョブスケジューラ 電磁界
 コンパイラ 可視化
 構造・流体 数値解析
 マルチフィジクス クラウド支援
 化学・量子化学 ツール

Set Up Service

セットアップサービス

OSセットアップ
 GPUアクセラレータセットアップ
 Deep Learningセットアップ
 Singularityセットアップ
 Deep Learning用サンプルプログラム
 復旧用リカバリーUSB作成サービス
 コンパイラセットアップ
 各種アプリケーションのインストール代行作業

ネットワーク設定
 MPI並列計算環境セットアップ
 ジョブ管理ソフトセットアップ
 クラスタ設定
 RAID設定
 設置サービス
 訪問相談サービス

取得認証

ISO9001：2015（品質の保証）

登録証番号：GIJP-0193-QC

初回認証登録日：2018年10月1日

認証範囲：HPC 製品（科学技術計算器）の組立・販売・サポート

ISO14001：2015（環境にやさしく）

登録証番号：GIJP-0193-EC

初回認証登録日：2018年10月1日

主要取引先

東京大学	東京工業大学	トヨタ自動車	凸版印刷	産業技術総合研究所
京都大学	広島大学	デンソー	ソニー	理化学研究所
東北大学	横浜国立大学	日本製鉄	オリンパス	海洋開発研究機構
大阪大学	早稲田大学	鹿島建設	住友電工	宇宙航空研究開発機構
九州大学	慶應義塾大学	東芝	NTT	遺伝研
北海道大学	明治薬科大学	三菱電機	楽天	等
名古屋大学	慈恵医科大学			
筑波大学				

※敬称略、順不同

取り組み

品質環境方針

ISO認証を受けた国内の自社オフィスに製造専用ラインを持ち日々、熟練されたエンジニアが品質向上に取り組み、全ての計算機を一つ一つ手作業で生産しております。部品選定、検品、製造、エージングテスト、全ての項目を厳しくチェックし、高品質の製品をお届けします。



環境への取り組み

企業活動と地球環境との調和・安全の推進を行い、環境負荷の低減及び環境マネジメント継続的改善に取り組み、環境に優しい事業活動の継続的な推進を行います。開発、購入、製造、販売プロセスなど事業のあらゆる面で効率化を推進し、環境に優しい活動を推進します。製品やサービスの品質向上を図り、省資源化や廃棄物対策の推進に努めます。環境に配慮した製品やサービスの開発に努め、お客様へご提供します。グリーン購入の推進及び、製品のコストダウンをはかり、より一層の社会貢献を目指します。

- ▶環境関連法規制等の順守
- ▶環境保全活動の継続的な推進

次世代のサービス産業の在り方をIT技術で 創造する企業を目指します。

代表取締役社長 下津 弘享

当社は過去の事業再生ノウハウと新たに旅館事業におけるノウハウを持つことで、更なるサービス事業領域の強化を図って参ります。また当社グループの株式会社アドテック、株式会社パディネットの事業であるIoT分野及び通信分野（5GやIoT通信）において、この鬼怒川絆を様々な研究場所として、館内のお客様への利便性・快適性の追求やそこに働く従業員のための業務効率化や労働環境改善に向けた技術開発の追求を行って参ります。また地元密着で、IT関連の実証実験や製品販売の推進、IT技術を活用したイベント等の催し物等へのサポートなど多角的視点で、事業展開を図って参ります。

事業内容

旅館事業

栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川絆」の運営事業をスタートさせました。鬼怒川の自然に包まれながらペットと過ごす最高のひと時を私達スタッフが最大限にサポートいたします。鬼怒川絆は、自慢の庭園を始め、会席料理、天然温泉、大切なペットと快適に過ごすことの出来る館内施設を運営し、また周辺の様々な施設との連携も進めております。

ペット商品事業

ペットとの暮らしにおけるニーズが複雑化、多様化している中、飼い主様とペットの利便性、快適さ、健康の向上をテーマに、ペットフードや飼育用品から保険まで、あらゆる種類のペット商品に関して、市場ニーズの把握から商品の企画、製造、輸入、販売までを行なう総合ペット商品事業の構築を目指して参ります。

IT事業

当社グループのノウハウを活かし、人口が減少する中で競争が激化する旅館、飲食店、小売店等BtoCビジネスのIT化、IoT化を推進する機器及びソリューション開発を行い、ビジネスの効率化、差別化推進に貢献して参ります。又、ペットとの暮らしのQOL向上に貢献するものとして、昨今海外を中心に開発の進む、ペットの福祉、健康等に関するIoT機器の開発、製造、輸入、販売事業も推進して参ります。

取得認証

▶温泉利用（浴用）許可

許可番号：栃木県指令西保第3621-7号/8号/9号/10号/11号/12号/13号/14号/
15号/16号/17号/18号

許可年月日：2020年8月27日

▶飲食業許可

許可番号：栃木県指令西保第10006242号
許可年月日：2020年8月25日

▶旅館業許可

許可番号：栃木県指令西保第010500015号
許可年月日：2020年8月28日

イベント事業

2020年10月1日に栃木県の鬼怒川温泉において、ペットと泊まれる温泉旅館、「鬼怒川絆」の運営事業をスタートさせましたが、旅館運営にとどまらず、地元の活性化に貢献することで、当旅館にお越しのお客様がさらに様々な過ごし方を演出できるようにして参ります。その為に館内における催し物だけに留まらず地域との連携による様々な催し物の開催に向けた企画等を積極的に推進し、イベントの企画・運営を事業の一つとしております。

不動産事業

当社の行なう旅館業は、サービス産業であると同時に、装置産業であり、立地、不動産の性質が非常に重要な要素となることから不動産事業の性質を有しております。

そのため、当社は、開業にあたり、将来の事業拡大を支えるため、不動産事業を重要な事業領域として行うことといたしました。不動産事業においては、デューデリジェンス、投資、再生、プロパティマネジメント、アセットマネジメント等総合不動産事業の構築をして参ります。

施設概要

名称：鬼怒川絆
住所：栃木県日光市鬼怒川温泉大原1422-4
電話：0288-25-7733（鬼怒川絆予約係）
メール：info@diamondpets.co.jp
ホームページ：https://kizuna-kinugawa.com/
仲居ブログ：https://ameblo.jp/kizuna-kinugawa/





<https://www.akiba-holdings.co.jp/>